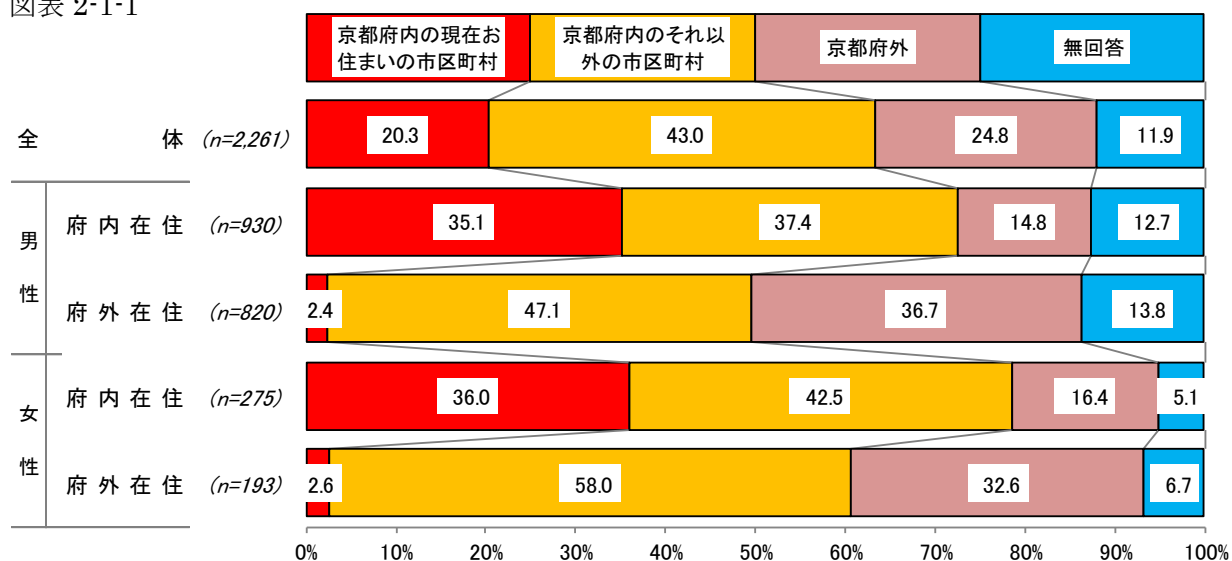


2. 職業について

(1) 最初の勤務地

問 1 2 最初のお勤め先の住所地について、あてはまるものを1つお選びください。

図表 2-1-1



最初の勤務地は（図表 2-1-1）、「京都府内の現在お住まいの市区町村」が 20.3%、「京都府内のそれ（現在お住まいの市区町村）以外の市区町村」が 43.0%、「京都府外」が 24.8%となっている。

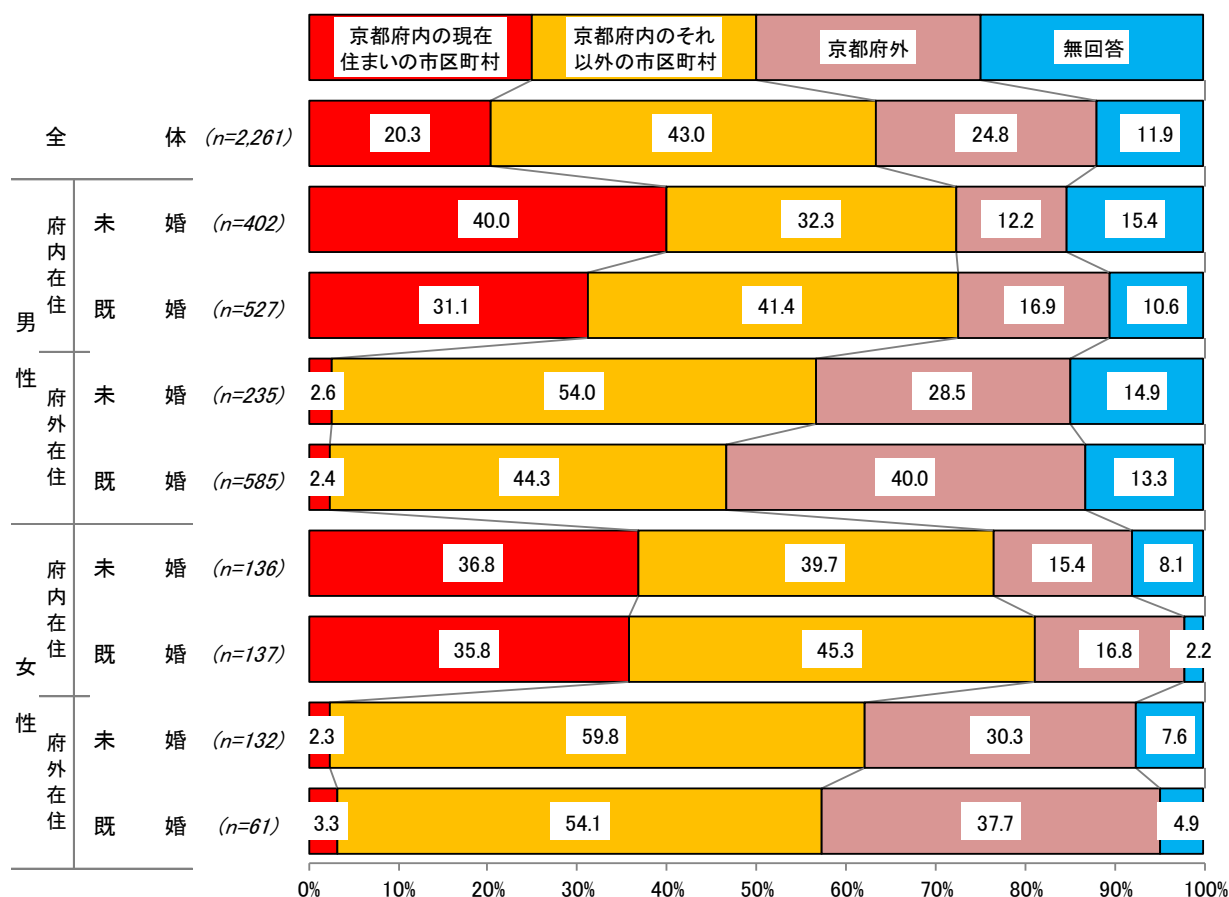
性・居住地別にみると（図表 2-1-1）、府内在住者で「京都府内の現在お住まいの市区町村」という者（男性 35.1%、女性 36.0%）は、男女ともに府内在住者で 3 割以上を占め、「京都府内のそれ以外の市区町村」（同 37.4%、42.5%）を合わせると、7 割以上は初任地が『京都府内』である。

一方、府外在住者では、男女とも「京都府外」（同 36.7%、32.6%）という者が 3 割台である。

性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 2-1-3）、府内在住の男性では、「京都府内の現在お住まいの市区町村」（未婚 40.0%、既婚 31.1%）は、未婚者が既婚者を上回り、「京都府内のそれ以外の市区町村」（同 32.3%、41.4%）及び「京都府外」（同 12.2%、16.9%）は既婚者が未婚者を上回る。府外在住の男性では、「京都府内のそれ以外の市区町村」が未婚者（54.0%）が既婚者（44.3%）を上回り、「京都府外」は未婚者（28.5%）を既婚者（40.0%）を上回る。

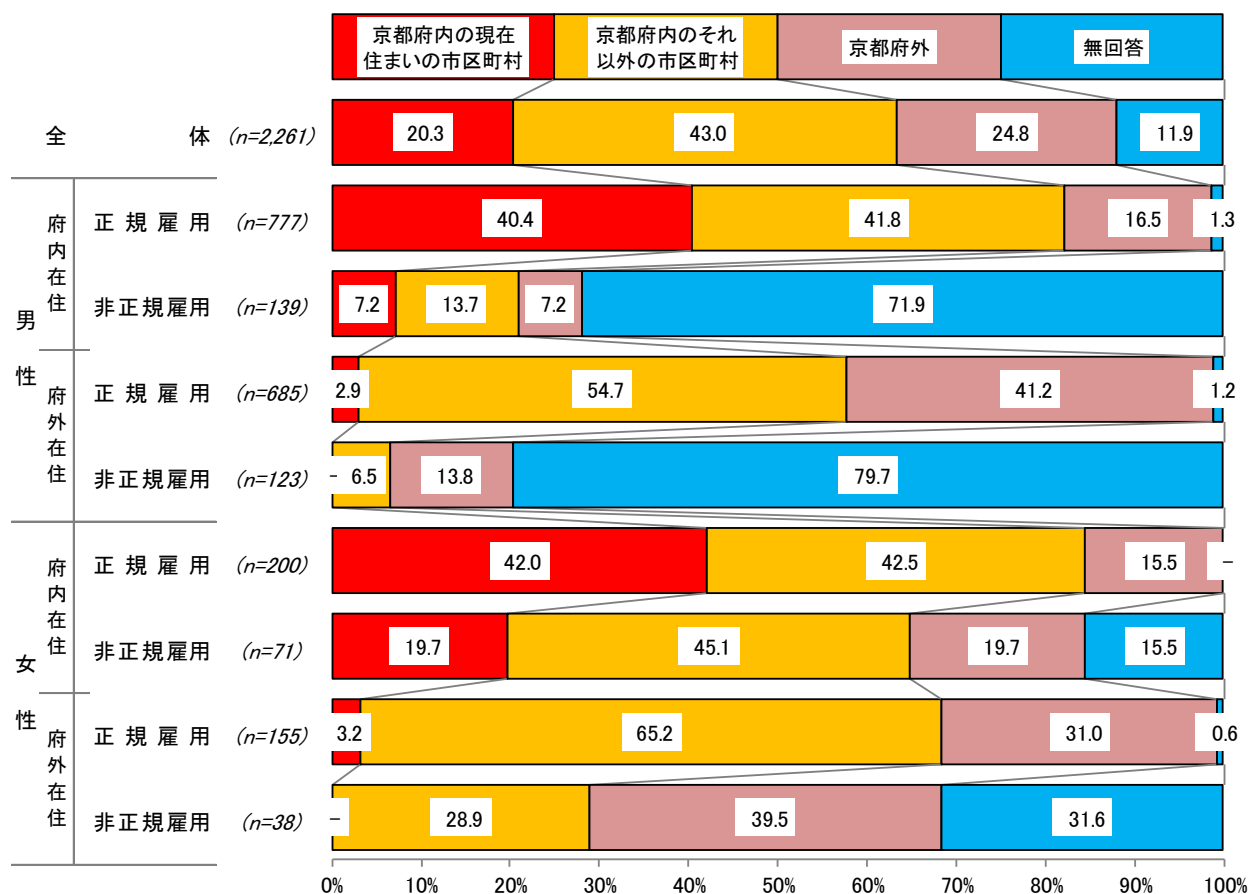
女性では、婚姻状況による差はみられない。

図表 2-1-3 最初の勤務地（性・居住地・婚姻状況別）



性・居住地・就労状況別（図表 2-1-4）にみると、府内在住の正規雇用者は、男女ともに「京都府内の現在お住まいの市区町村」（男性 40.4%、女性 42.0%）と「京都府内のそれ以外の市区町村」（同 41.8%、42.5%）が、それぞれ約 4 割で並んでいる。府外在住の正規雇用者では、「京都府内のそれ（現在お住まいの市区町村）以外の市区町村」（同 54.7%、65.2%）と「京都府外」（同 41.2%、31.0%）が多数を占めている。

図表 2-1-4 最初の勤務地（性・居住地・就労状況別）

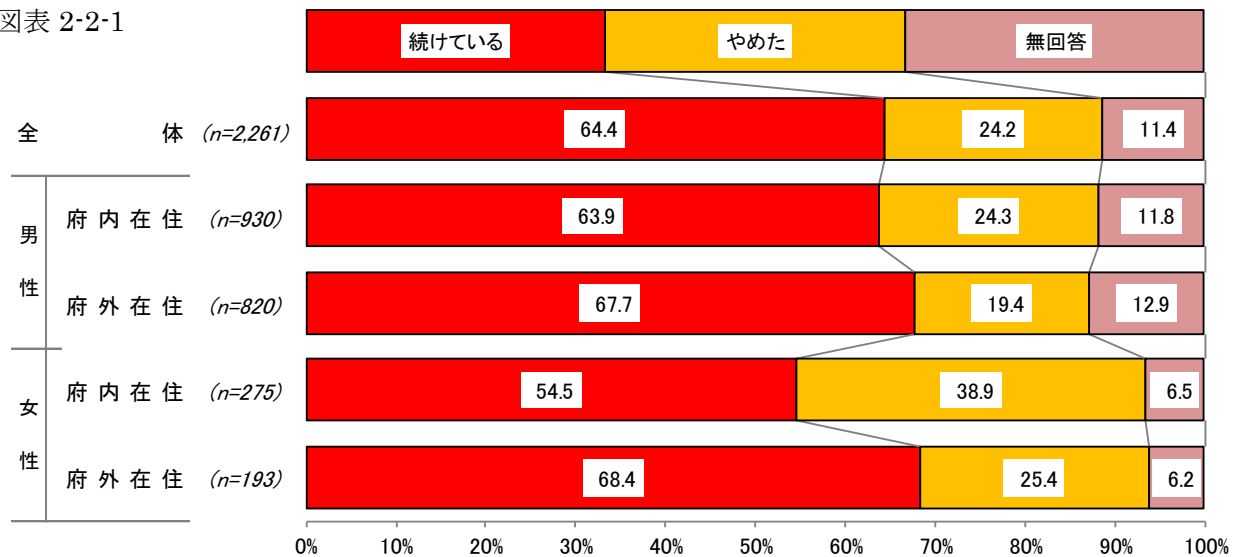


（２）初職の継続状況

問１３ あなたは、現在も最初のお勤め先で、仕事を続けていますか。あてはまるものを１つお選びください。

現在、産休・育休・病休などを取っている場合は「１ 続けている」を選んでください。

図表 2-2-1



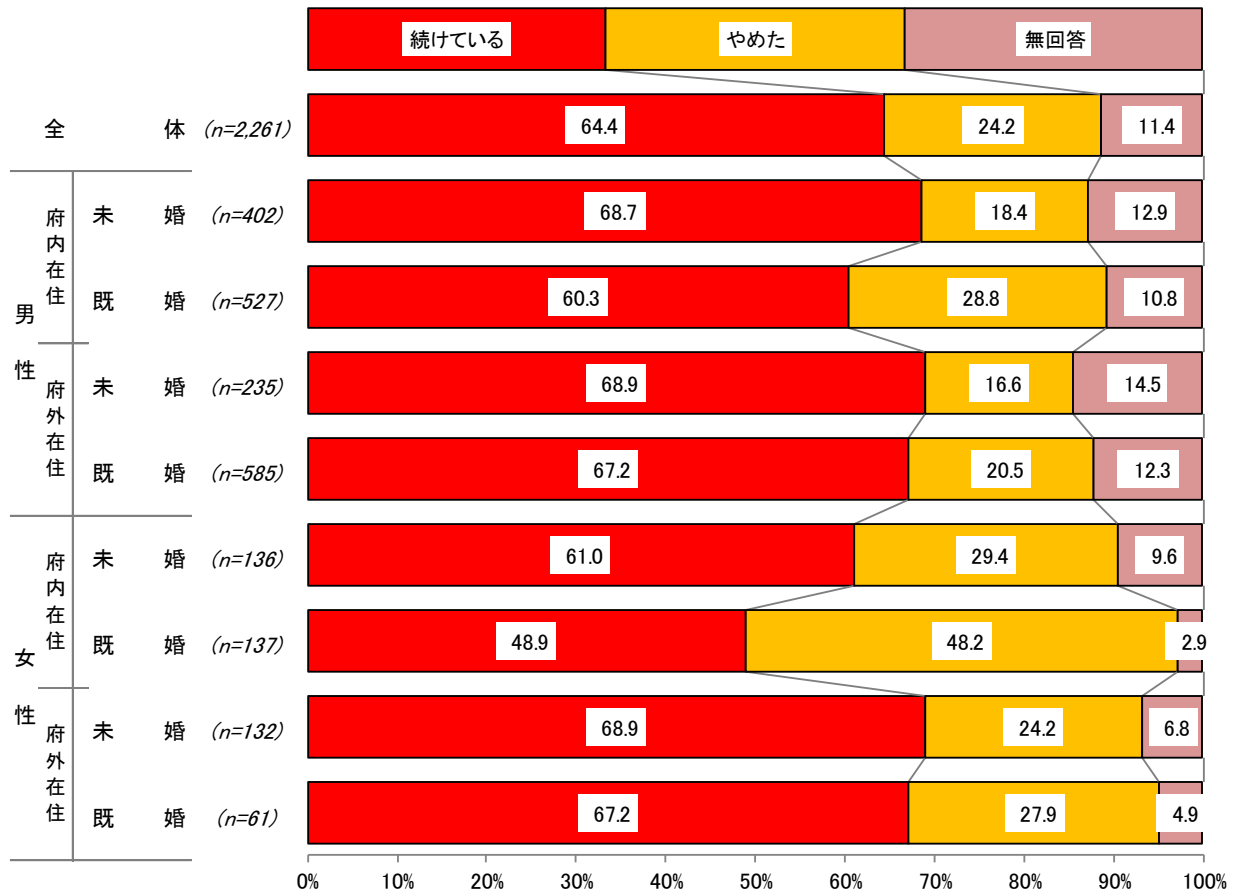
初職の継続状況を聞いたところ(図表 2-2-1)、「続けている」という者は64.4%で、「やめた」(24.2%)を大きく上回る。

性・居住地別にみると、男性は居住地による大きな差はみられない。女性では、「続けている」という者が、府内在住者(54.5%)よりも府外在住者(68.4%)に多い。

男女別にみると、府内在住の女性に、初職を「やめた」(38.9%)という者が他の層より多くなっている。

性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 2-2-2）、府内在住者では、初職を「続けている」という者が、既婚者（男性 60.3%、女性 48.9%）よりも未婚者（同 68.7%、61.0%）に多い。一方、府外在住者では、男女ともに婚姻状況による大きな差はみられない。

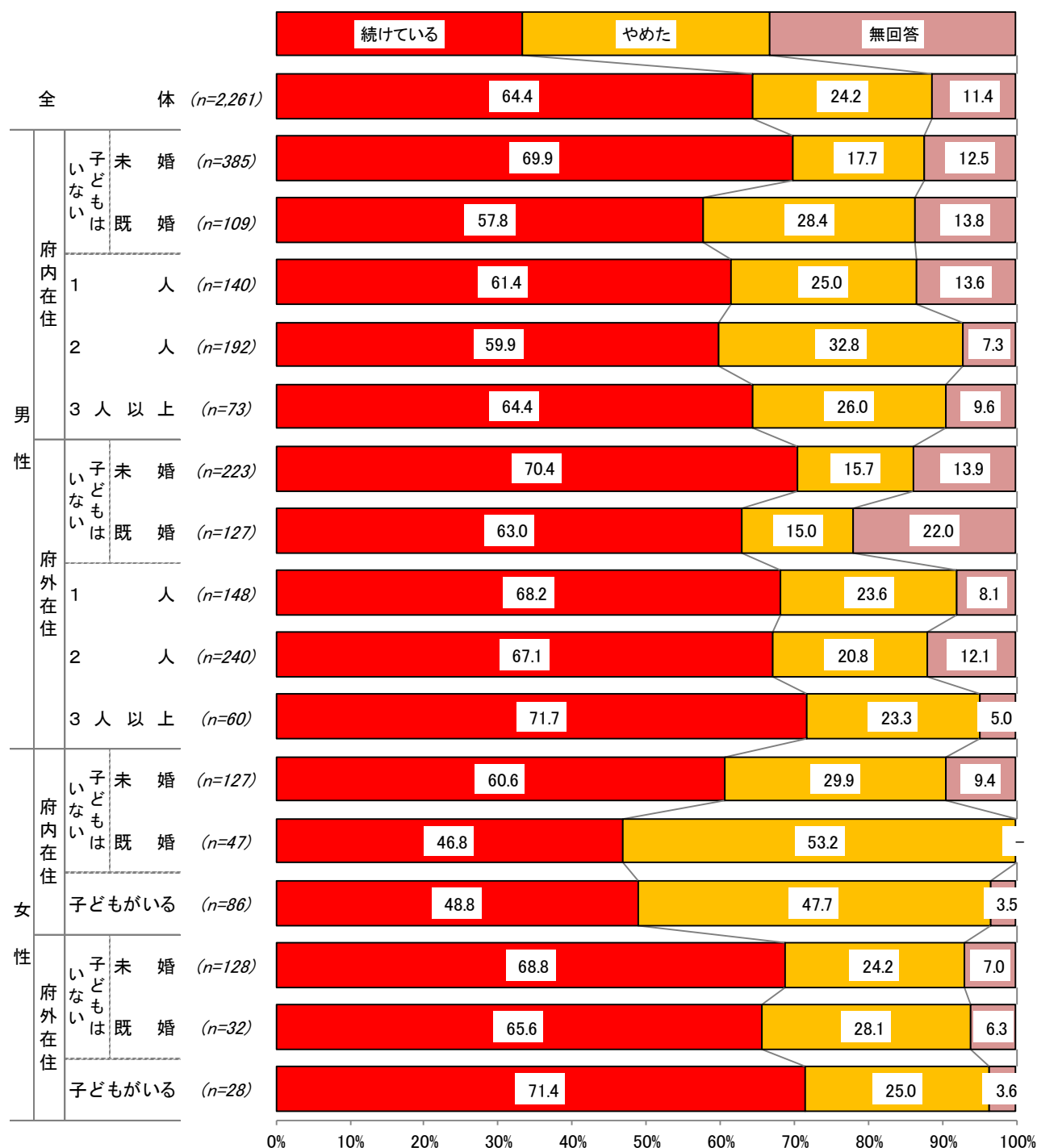
図表 2-2-2 初職の継続状況（性・居住地・婚姻状況別）



性・居住地・子どもの人数別にみると（図表 2-2-3）、府内在住の男性では、初職を「続けている」という者は、子どもがいない未婚者（69.9%）では 7 割だが、子どもがいない既婚者（57.8%）や子どものいる者（59.9%～64.4%）では 6 割前後である。府外在住の男性では、子どもがいない未婚者（70.4%）と子どもがいる層（67.1%～71.7%）では 7 割前後が初職を「続けている」が、子どもがいない既婚者では 63.0%とやや少なくなっている。

一方、府内在住の子どものいる女性では、初職を「続けている」者（48.8%）と「やめた」者（47.7%）に、ほぼ二分されている。

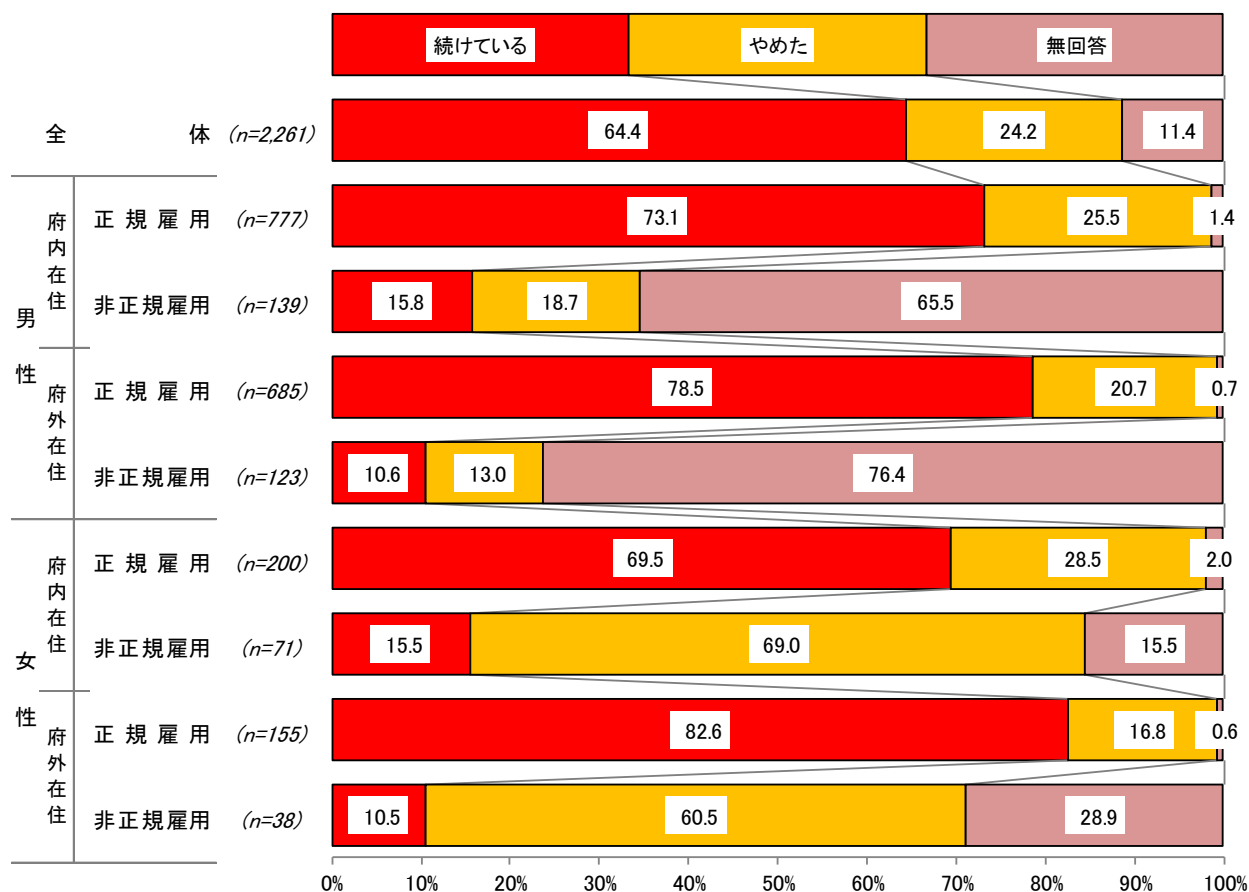
図表 2-2-3 初職の継続状況（性・居住地・子どもの人数別）



性・居住地・就労状況別にみると（図表 2-2-4）、男性の正規雇用者（府内 73.1%、府外 78.5%）は、居住地別による大きな差はなく、7 割以上が初職を「続けている」。一方、非正規雇用の男性で、初職を「続けている」（同 15.8%、10.6%）という者は 1 割台で、府内在住男性の 65.5%、府外在住男性の 76.4%は「やめた」と回答している。

女性では、府内在住の正規雇用者（69.5%）よりも府外在住の正規雇用者（82.6%）の方が初職を「続けている」が多い。

図表 2-2-4 初職の継続状況（性・居住地・就労状況別）



(3) 初職の退職理由

【問13で「2 やめた」と答えた方にお聞きます。】

問14 最初の仕事を、やめた理由は何でしたか。あてはまるものを1つお選びください。

図表 2-3-1

(%)

		賃金、労働時間等の 処遇への不満	仕事の 内容への不満	職場の 人間関係、仕 事上のトラブル	人員整理、 倒産などの ため	雇用 期間の満了	結 婚の ため	健 康上 の理 由	進 学・通 学の ため	出 産の ため	育 児の ため	介 護・看 護の ため	そ の 他	無 回 答
全	体 (n=548)	26.1	25.0	9.7	8.0	6.9	3.8	2.9	2.7	2.0	1.1	0.9	10.2	0.5
男	府内在住 (n=226)	27.0	29.6	9.3	8.4	7.1	2.2	1.8	2.7	-	0.9	0.9	9.7	0.4
性	府外在住 (n=159)	29.6	28.9	8.2	7.5	4.4	1.3	1.3	1.3	-	0.6	1.9	14.5	0.6
女	府内在住 (n=107)	23.4	14.0	12.1	7.5	10.3	12.1	2.8	2.8	8.4	1.9	-	4.7	-
性	府外在住 (n=49)	20.4	12.2	10.2	10.2	6.1	2.0	14.3	8.2	4.1	2.0	-	10.2	-

転職経験者（548人）の初職の退職理由としては（図表 2-3-1）、「賃金、労働時間等の処遇への不満」が 26.1%、「仕事の内容への不満」が 25.0%で上位を占め、以下「職場の人間関係、仕事上のトラブル」（9.7%）、「人員整理、倒産などのため」（8.0%）、「雇用期間の満了」（6.9%）などの順となっている。

性・居住地別にみると（図表 2-3-1）、男女ともに居住地による大きな差はみられない。

居住地での男女別にみると、府内在住者では、「仕事の内容への不満」（男性 29.6%、女性 14.0%）は女性より男性に、「結婚のため」（同 2.2%、12.1%）は男性より女性に多くあげられている。一方、府外在住者では、「賃金、労働時間等の処遇への不満」（同 29.6%、20.4%）と「仕事の内容への不満」（同 28.9%、12.2%）は男性より女性に、「健康上の理由」（同 1.3%、14.3%）は男性より女性に、それぞれ多くあげられている。

性・居住地・婚姻状況別にみると(図表 2-3-2)、府内在住の男性は「雇用期間の満了」が既婚者(3.3%)よりも未婚者(14.9%)に多い。

一方、府内在住の女性では、「結婚のため」(19.7%)と「出産のため」(13.6%)が、それぞれやや多くあげられている。

図表 2-3-2 初職の退職理由(性・居住地・婚姻状況別)

(%)

			無 回 答	そ の 他	介 護 ・ 看 護 の た め	育 児 の た め	出 産 の た め	進 学 ・ 通 学 の た め	健 康 上 の 理 由	結 婚 の た め	雇 用 期 間 の 満 了	人 員 整 理 、 倒 産 な ど の た め	職 場 の 人 間 関 係 、 仕 事 上 の ト ラ ブ ル	仕 事 の 内 容 へ の 不 満	賃 金 、 労 働 時 間 等 の 不 満
全 体 (n=548)			0.5	10.2	0.9	1.1	2.0	2.7	2.9	3.8	6.9	8.0	9.7	25.0	26.1
男 性	府 内 在 住	未 婚 (n=74)	—	10.8	—	—	—	4.1	1.4	1.4	14.9	5.4	10.8	25.7	25.7
		既 婚 (n=152)	0.7	9.2	1.3	1.3	—	2.0	2.0	2.6	3.3	9.9	8.6	31.6	27.6
	府 外 在 住	未 婚 (n=39)	—	12.8	2.6	—	—	2.6	—	5.1	2.6	7.7	7.7	28.2	30.8
		既 婚 (n=120)	0.8	15.0	1.7	0.8	—	0.8	—	1.7	5.0	7.5	8.3	29.2	29.2
女 性	府 内 在 住	未 婚 (n=40)	—	—	—	—	—	5.0	5.0	—	7.5	10.0	15.0	25.0	32.5
		既 婚 (n=66)	—	7.6	—	—	3.0	1.5	1.5	1.5	12.1	6.1	9.1	7.6	18.2
	府 外 在 住	未 婚 (n=32)	—	6.3	—	—	—	9.4	12.5	3.1	9.4	9.4	15.6	15.6	18.8
		既 婚 (n=17)	—	17.6	—	—	5.9	11.8	5.9	17.6	—	—	11.8	5.9	23.5

性・居住地・就労状況別にみると（図表 2-3-3）、男性の正規雇用者を居住地別にみても、大きな差はみられない。

図表 2-3-3 初職の退職理由（性・居住地・就労状況別）

			(%)												
			処賃 遇金、 労働時 間の不 満	仕事 の容 容への 不満	事職 場の 人間 関係、 仕	の人 員整 理、 倒産 など のため	雇 用期 間の 満了	結 婚の ため	健 康上 の理 由	進 学・ 通学 のため	出 産の ため	育 児の ため	介 護・ 看護 のため	そ の 他	無 回 答
全 体 (n=548)			26.1	25.0	9.7	8.0	6.9	3.8	2.9	2.7	2.0	1.1	0.9	10.2	0.5
男 性	府 内 在 住	正 規 雇 用 (n=198)	26.3	32.8	8.6	7.6	5.6	2.5	1.5	2.5	-	0.5	1.0	10.6	0.5
		非正規雇用 (n=26)	34.6	7.7	15.4	11.5	19.2	-	-	3.8	-	3.8	-	3.8	-
	府 外 在 住	正 規 雇 用 (n=142)	30.3	31.0	6.3	5.6	4.2	1.4	1.4	1.4	-	0.7	2.1	14.8	0.7
		非正規雇用 (n=16)	25.0	6.3	25.0	25.0	6.3	-	-	-	-	-	-	12.5	-
女 性	府 内 在 住	正 規 雇 用 (n=57)	28.1	19.3	12.3	5.3	12.3	7.0	-	1.8	8.8	1.8	-	3.5	-
		非正規雇用 (n=49)	18.4	8.2	12.2	10.2	8.2	16.3	6.1	4.1	8.2	2.0	-	6.1	-
	府 外 在 住	正 規 雇 用 (n=26)	26.9	3.8	7.7	3.8	3.8	3.8	19.2	11.5	-	3.8	-	15.4	-
		非正規雇用 (n=23)	13.0	21.7	13.0	17.4	8.7	-	8.7	4.3	8.7	-	-	4.3	-

(4) 現在の就労状況

【全員の方にお聞きします。】

問 15 あなたの現在の仕事についてお聞きします。

あなたの現在の仕事は、大きく分けて次のどれにあたりますか。あてはまるものを1つ
お選びください。

図表 2-4-1

			正社員・正職員	非正規雇用（計）	臨時雇用・パート・アルバイト	派遣社員	契約社員、嘱託	経営者、役員	無回答
全 体 (n=2,261)			81.6	16.9	13.2	0.4	3.3	0.2	1.3
男 性	府 内 在 住 (n=930)		83.5	14.9	12.4	0.1	2.5	0.2	1.3
	府 外 在 住 (n=820)		83.5	15.0	12.9	-	2.1	0.1	1.3
女 性	府 内 在 住 (n=275)		72.7	25.8	16.0	2.9	6.9	0.4	1.1
	府 外 在 住 (n=193)		80.3	19.7	13.0	0.5	6.2	-	-

現在の就労状況を聞いたところ（図表 2-4-1）、「正社員・正職員」が 81.6%で最も多く、次いで「臨時雇用・パート・アルバイト」が 13.2%である。

性・居住地別にみると（図表 2-4-1）、居住地による大きな差はみられない。

居住地での男女別にみると、府内在住者では「正社員・正職員」（男性 83.5%、女性 72.7%）は女性より男性に多く、女性は「臨時雇用・パート・アルバイト」（16.0%）、「契約社員、嘱託」（6.9%）などの『非正規雇用者』が 25.8%となっている。一方、府外在住者では、大きな男女差はみられない。

性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 2-4-2）、男性では、府内在住の未婚男性で、「臨時雇用・パート・アルバイト」（14.9%）もしくは「契約社員、嘱託」（4.2%）といった『非正規雇用者』（19.4%）がやや多い。一方、女性では、婚姻状況にかかわらず、府内在住者に『非正規雇用者』（未婚 26.5%、既婚 25.5%）がやや多くなっている。

図表 2-4-2 就労状況（性・居住地・婚姻状況別）

				正社員・正職員	非正規雇用（計）	パート・アルバイト・臨時雇用	派遣社員	契約社員、嘱託	経営者、役員	無回答	(%)
全 体 (n=2,261)				81.6	16.9	13.2	0.4	3.3	0.2	1.3	
男性	府内在住	未婚 (n=402)	78.4	19.4	14.9	0.2	4.2	－	2.2		
		既婚 (n=527)	87.5	11.6	10.4	－	1.1	0.4	0.6		
	府外在住	未婚 (n=235)	83.4	15.7	14.0	－	1.7	－	0.9		
		既婚 (n=585)	83.6	14.7	12.5	－	2.2	0.2	1.5		
女性	府内在住	未婚 (n=136)	72.8	26.5	13.2	4.4	8.8	－	0.7		
		既婚 (n=137)	72.3	25.5	19.0	1.5	5.1	0.7	1.5		
	府外在住	未婚 (n=132)	80.3	19.7	12.9	－	6.8	－	－		
		既婚 (n=61)	80.3	19.7	13.1	1.6	4.9	－	－		

性・居住地・子どもの人数別にみると（図表 2-4-3）、府内在住の男性は、子どもの人数が多い者ほど「正社員・正職員」が多い傾向があり、子どもの人数が2人以上（子ども2人92.2%、3人89.0%）では9割前後を占めている。府外在住の男性は、子どもがいない既婚者で「臨時雇用・パート・アルバイト」が23.6%と、他の層よりも多い。

一方、府内在住の子どもがいる女性では、「正社員・正職員」（67.4%）は7割弱で、臨時雇用・パート・アルバイト（24.4%）や「契約社員、嘱託」（3.5%）などの『非正規雇用者』（30.2%）が3割である。

府外在住女性の子どものいない未婚者は、8割が「正社員・正職員」（80.5%）である。

図表 2-4-3 就労状況（性・居住地・子どもの人数別）

					正社員・正職員	非正規雇用（計）	パート・アルバイト・臨時雇用	派遣社員	契約社員、嘱託	経営者、役員	無回答
全体 (n=2,261)					81.6	16.9	13.2	0.4	3.3	0.2	1.3
男性	府内在住	子どもがいない	未婚 (n=385)		79.0	19.0	14.8	0.3	3.9	-	2.1
			既婚 (n=109)		84.4	15.6	14.7	-	0.9	-	-
		子どもがいる	1人 (n=140)		84.3	15.0	14.3	-	0.7	-	0.7
			2人 (n=192)		92.2	7.3	6.8	-	0.5	-	0.5
			3人以上 (n=73)		89.0	9.6	5.5	-	4.1	1.4	-
	府外在住	子どもがいない	未婚 (n=223)		83.9	15.2	13.5	-	1.8	-	0.9
			既婚 (n=127)		72.4	25.2	23.6	-	1.6	-	2.4
		子どもがいる	1人 (n=148)		89.2	9.5	8.1	-	1.4	-	1.4
			2人 (n=240)		84.6	14.2	11.3	-	2.9	-	1.3
			3人以上 (n=60)		91.7	8.3	6.7	-	1.7	-	-
女性	府内在住	子どもがいない	未婚 (n=127)		72.4	26.8	12.6	4.7	9.4	-	0.8
			既婚 (n=47)		80.9	17.0	8.5	-	8.5	2.1	-
		子どもがいる (n=86)			67.4	30.2	24.4	2.3	3.5	-	2.3
	府外在住	子どもがいない	未婚 (n=128)		80.5	19.5	12.5	-	7.0	-	-
			既婚 (n=32)		81.3	18.8	15.6	3.1	-	-	-
		子どもがいる (n=28)			78.6	21.4	10.7	-	10.7	-	-

(5) 現在の職種

【現在仕事をしている方（問15で「1」～「9」と答えた方）にお聞きします。】

問16 現在の仕事の内容をお教えてください。あてはまるものを1つお選びください。

図表 2-5-1

図表 2-5-1

		木職、造園師など	農林漁業（農業、畜産、林業、漁業、植	生産工程・労務職（大工、家具職人、工場作業員、建築作業員、清掃員、トラック運転手など）	サービス職（料理人、理容師、クリーニング職、飲食店での接客、タクシー運転手、ヘルパーなど）	保安職（警官、自衛官、守衛など）	販売職（小売店主、販売店員、営業員、外交員など）	事務職（総務・企画事務、経理事務、営業事務、校正など）	管理職（会社役員、課長以上の管理職、駅長など）	専門職（医師、会計士、教員、看護師、保育士、社会福祉士など）	その他	無回答
全	体 (n=2,231)	0.0	22.7	8.7	0.3	7.7	35.8	1.9	18.0	0.8	4.1	
男	府内在住 (n=918)	0.1	33.8	9.4	0.3	6.6	26.4	2.0	15.9	0.5	5.0	
性	府外在住 (n=809)	-	20.5	7.9	0.2	8.5	29.8	2.8	25.6	1.1	3.5	
女	府内在住 (n=272)	-	5.9	9.2	-	5.9	65.1	0.4	9.2	0.7	3.7	
性	府外在住 (n=193)	-	3.1	7.3	-	10.4	64.8	0.5	11.4	-	2.6	

職種をみると（図表 2-5-1）、「事務職（総務・企画事務、経理事務、営業事務、校正など）」が 35.8%、「生産工程・労務職（大工、家具職人、工場作業員、建築作業員、清掃員、トラック運転手など）」が 22.7%、「専門職（医師、会計士、教員、看護師、保育士、社会福祉士など）」が 18.0%、「サービス職（調理人、理容師、クリーニング職、飲食店での接客、タクシー運転手、ヘルパーなど）」が 8.7%、「販売職（小売店主、販売店員、営業員、外交員など）」が 7.7%などの順となっている。

性・居住地別にみると（図表 2-5-1）、府内在住の男性では「生産工程・労務職」が 33.8%で最も多く、次いで「事務職」（26.4%）、「専門職」（15.9%）の順となっているが、府外在住の男性では「事務職」（29.8%）、「専門職」（25.6%）、「生産工程・労務職」（20.5%）の順となっている。

女性は、居住地による大きな差はみられず、「事務職」（府内 65.1%、府外 64.8%）が最も多くを占める。

性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 2-5-2）、府内在住の男性では、「生産工程・労務職」（未婚 25.7%、既婚 39.9%）は未婚者よりも既婚者に多く、「事務職」（同 29.8%、23.9%）及び「専門職」（同 20.4%、12.6%）は、既婚者よりも未婚者に多い。府外在住の男性には婚姻状況による差はみられない。

一方、女性では、府外在住者で、「事務職」（同 60.6%、73.8%）が未婚者より既婚者に多くなっている。

図表 2-5-2 現在の職種（性・居住地・婚姻状況別）

														(%)							
			木職、造園師など	農林漁業 （農業、畜産、林業、漁業、植	生産工程・労務職 （大工、家具職人、工場作業 者、建築作業員、清掃員、ト	シグ（料理人、理容師、クリーニ ン	（警安職、自衛官、守衛など）	販売職 （小売店主、販売店員、営業 員、外交員など）	（総務・企画事務、経理事務、 営業事務、校正など）	事務職 （会社役員、課長以上の管理 職、駅長など）	（医師、会計士、教員、看護 師、保育士、社会福祉士など）	専門職 （医師、会計士、教員、看護 師、保育士、社会福祉士など）	その他	無 回 答							
全 体 (n=2,231)			0.0		22.7		8.7		0.3		7.7		35.8		1.9		18.0		0.8		4.1
男 性	府内在住	未婚 (n=393)	-		25.7		10.7		0.3		5.6		29.8		1.3		20.4		0.3		6.1
		既婚 (n=524)	0.2		39.9		8.2		0.4		7.4		23.9		2.5		12.6		0.8		4.2
	府外在住	未婚 (n=233)	-		21.0		8.6		-		7.3		29.2		-		27.5		1.3		5.2
		既婚 (n=576)	-		20.3		7.6		0.3		9.0		30.0		4.0		24.8		1.0		2.8
女 性	府内在住	未婚 (n=135)	-		6.7		10.4		-		5.2		63.0		-		9.6		0.7		4.4
		既婚 (n=135)	-		5.2		7.4		-		6.7		68.1		0.7		8.9		0.7		2.2
	府外在住	未婚 (n=132)	-		3.8		9.1		-		12.9		60.6		-		10.6		-		3.0
		既婚 (n=61)	-		1.6		3.3		-		4.9		73.8		1.6		13.1		-		1.6

性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 2-5-3）、府内在住の男性では、子どものいる者では「生産工程・労務職」（41.9%）が 4 割を上回って最も多く、次いで「事務職」（21.6%）となっている。一方、府外在住で子どものいる男性では、「事務職」（31.4%）が 3 割台で最も多く、次いで「専門職」（24.8%）、「生産工程・労務職」（18.7%）が多い。また、子どものいない男性では、「生産工程・労務職」は府内在住者（未婚 26.3%、既婚 32.1%）の方が府外在住者（同 21.3%、26.6%）より多い。「専門職」は、府外在住の子どものいない未婚男性（28.5%）で 3 割近い。

女性では、府内在住の子どものいる者の 7 割近くが「事務職」（66.7%）である。

図表 2-5-3 現在の職種（性・居住地・子どもの有無別）

				(%)												
				木（農 職業、畜産、造園、林業、漁業、など）	ラ（大 ツ工、建築、運 ク作、作業員、手 運転、清掃など）	生（生 産工、器具職、人、労働者）	シ（職 職、飲食店、ヘルパーなど）	グ（料 理人、美容師、クリーニング職）	サ（保 官、自衛官、安 守衛など）	員（小 販主、販売店員、営業員など）	営（総 務・企画、事務、経理事務、など）	事（管 理、課長以上の管理職）	職（会 社役員、校長などの管理職）	師（医 師、保育士、会計士、教員、看護士など）	そ の 他	無 回 答
全 体 (n=2,231)				0.0	22.7	8.7	0.3	7.7	35.8	1.9	18.0	0.8	4.1			
男 性	府内在住	子どもいない 未婚 (n=377)	-	26.3	10.3	0.3	5.0	29.7	1.3	20.7	0.3	6.1				
		子どもいない 既婚 (n=109)	0.9	32.1	7.3	-	7.3	31.2	-	17.4	0.9	2.8				
		子どもがいる (n=403)	-	41.9	8.4	0.2	7.7	21.6	3.2	11.4	0.7	4.7				
	府外在住	子どもいない 未婚 (n=221)	-	21.3	7.2	-	7.2	29.9	-	28.5	1.4	4.5				
		子どもいない 既婚 (n=124)	-	26.6	9.7	0.8	8.1	26.6	1.6	23.4	0.8	2.4				
		子どもがいる (n=443)	-	18.7	7.0	0.2	9.5	31.4	4.5	24.8	1.1	2.7				
女 性	府内在住	子どもいない 未婚 (n=126)	-	7.1	8.7	-	5.6	62.7	-	10.3	0.8	4.8				
		子どもいない 既婚 (n=47)	-	-	6.4	-	8.5	70.2	2.1	6.4	-	6.4				
		子どもがいる (n=84)	-	8.3	7.1	-	6.0	66.7	-	10.7	1.2	-				
	府外在住	子どもいない 未婚 (n=128)	-	3.9	9.4	-	12.5	60.9	-	10.9	-	2.3				
		子どもいない 既婚 (n=32)	-	3.1	3.1	-	6.3	71.9	3.1	12.5	-	-				
		子どもがいる (n=28)	-	-	3.6	-	3.6	75.0	-	14.3	-	3.6				

性・居住地・就労状況別にみると（図表 2-5-4）、男性では、居住地にかかわらず「事務職」は、非正規雇用者（府内 18.7%、府外 14.6%）よりも正規雇用者（同 27.8%、32.6%）に多い。これに対して、「サービス職」は、正規雇用者（同 7.6%、6.7%）より非正規雇用者（同 19.4%、13.8%）に多くなっている。また、府外在住の男性では、「専門職」（正規 27.2%、非正規 17.1%）は非正規雇用者より正規雇用者に、「生産工程・労務職」（同 15.9%、46.3%）は正規雇用者より非正規雇用者に、それぞれ多くなっている。

一方、女性では居住地と就労状況による差が小さいが、府内在住者で「サービス職」（正規 7.0%、非正規 15.5%）が非正規雇用者にやや多くなっている。

図表 2-5-4 現在の職種（性・居住地・就労状況別）

(%)

			農林漁業 （農業、畜産、 造園師など）	生産工程・ 労働者、大工、 建築、運転手 など）	サービス職 （料理人、理 髪師、美容師、 接客、クリーニング など）	保安職 （警官、自衛官、 守衛など）	販売職 （小売店主、販 売店員、営業 員など）	事務職 （総務・企画 事務、校正など）	管理職 （会社役員、課 長以上の管理 職など）	専門職 （医師、保育 士、会計士、教 員、社会福祉士 など）	その他	無回答
全 体 (n=2,231)			0.0	22.7	8.7	0.3	7.7	35.8	1.9	18.0	0.8	4.1
男性	府内在住	正規雇用 (n=777)	0.1	33.8	7.6	0.3	6.6	27.8	2.1	15.8	0.5	5.4
	府内在住	非正規雇用 (n=139)	-	33.8	19.4	0.7	6.5	18.7	0.7	16.5	0.7	2.9
	府外在住	正規雇用 (n=685)	-	15.9	6.7	0.3	9.1	32.6	3.4	27.2	1.2	3.8
	府外在住	非正規雇用 (n=123)	-	46.3	13.8	-	5.7	14.6	-	17.1	0.8	1.6
女性	府内在住	正規雇用 (n=200)	-	7.0	7.0	-	4.5	66.5	-	10.5	0.5	4.0
	府内在住	非正規雇用 (n=71)	-	2.8	15.5	-	9.9	62.0	-	5.6	1.4	2.8
	府外在住	正規雇用 (n=155)	-	3.2	6.5	-	11.6	64.5	0.6	10.3	-	3.2
	府外在住	非正規雇用 (n=38)	-	2.6	10.5	-	5.3	65.8	-	15.8	-	-

(6) 現在の職場の従業員・職員規模

【現在仕事をしている方（問15で「1」～「9」と答えた方）にお聞きします。】

問17 あなたの職場の従業員・職員は全体でどれくらいですか。支社・営業所だけでなく、わかる範囲で、パート・アルバイト・契約社員なども含めた会社全体の従業員数にあてはまるものを1つお選びください。

図表 2-6-1

			1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100～199人	200～299人	300～999人	1,000人以上	官公庁・独立行政法人	無回答
全 体 (n=2,231)			0.3	0.4	0.5	1.0	1.4	2.8	9.2	6.5	16.0	50.8	6.9	4.0
男 性	府 内 在 住 (n=918)		0.3	0.3	0.5	1.4	1.4	3.7	8.9	5.6	14.6	50.9	7.2	5.1
	府 外 在 住 (n=809)		0.1	0.1	0.5	0.4	1.4	1.4	7.8	6.4	16.7	54.4	7.7	3.2
女 性	府 内 在 住 (n=272)		1.1	1.5	0.4	1.5	1.5	2.9	15.8	9.6	16.2	39.7	7.0	2.9
	府 外 在 住 (n=193)		-	0.5	0.5	1.0	1.0	3.1	8.3	8.3	19.7	50.3	4.1	3.1

現在の職場全体の従業員・職員規模を聞いたところ（図表 2-6-1）、「1,000 人以上」が 50.8%で最も多く、次いで「300～999 人」が 16.0%となっている。

性・居住地別にみると（図表 2-6-1）、府内在住の女性は「100～199 人」が 15.8%と他の層よりも多くなっている。

性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 2-6-2）、男性では居住地にかかわらず「1,000 人以上」規模の職場が未婚者（府内 47.6%、府外 45.9%）よりも、既婚者（同 53.4%、57.8%）に多い。一方、女性の未婚者では、府外在住者（51.5%）の半数以上が「1,000 人以上」規模の職場に勤めており、府内在住者（41.5%）より多くなっている。

図表 2-6-2 現在の職場の従業員・職員規模（性・居住地・婚姻状況別）

			1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100～199人	200～299人	300～999人	1,000人以上	官公庁・独立行政法人	無回答
全 体 (n=2,231)			0.3	0.4	0.5	1.0	1.4	2.8	9.2	6.5	16.0	50.8	6.9	4.0
男 性	府 内 在 住	未 婚 (n=393)	0.5	0.8	-	0.8	1.8	3.6	10.7	6.4	14.5	47.6	7.6	5.9
		既 婚 (n=524)	0.2	-	1.0	1.9	1.1	3.8	7.4	5.0	14.7	53.4	6.9	4.6
	府 外 在 住	未 婚 (n=233)	0.4	-	0.9	0.4	1.3	2.6	6.0	10.7	18.5	45.9	9.0	4.3
		既 婚 (n=576)	-	0.2	0.3	0.3	1.4	0.9	8.5	4.7	16.0	57.8	7.1	2.8
女 性	府 内 在 住	未 婚 (n=135)	1.5	1.5	0.7	0.7	1.5	1.5	17.8	7.4	16.3	41.5	6.7	3.0
		既 婚 (n=135)	0.7	1.5	-	2.2	1.5	3.7	14.1	11.9	16.3	38.5	7.4	2.2
	府 外 在 住	未 婚 (n=132)	-	0.8	0.8	0.8	-	3.0	8.3	9.1	19.7	51.5	2.3	3.8
		既 婚 (n=61)	-	-	-	1.6	3.3	3.3	8.2	6.6	19.7	47.5	8.2	1.6

性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 2-6-3）、男性で「1,000 人以上」規模の職場に勤める者は、府内在住者では子どものいない既婚者（56.9％）に多いが、府外在住者では子どものいる者（61.2％）が 6 割以上を占める。

一方、府内在住の女性では、子どもの有無による大きな差はみられない。

図表 2-6-3 現在の職場の従業員・職員規模（性・居住地・子どもの有無別）

(%)

				1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100～199人	200～299人	300～999人	1,000人以上	官公庁・独立行政法人	無回答
全 体 (n=2,231)				0.3	0.4	0.5	1.0	1.4	2.8	9.2	6.5	16.0	50.8	6.9	4.0
性	男	府内在住	子どもがいない 未婚 (n=377)	0.3	0.8	—	0.8	1.9	3.7	10.3	6.4	14.3	47.7	8.0	5.8
			子どもがいない 既婚 (n=109)	—	—	0.9	0.9	1.8	2.8	4.6	7.3	14.7	56.9	7.3	2.8
		子どもがいる (n=403)		0.2	—	1.0	2.2	1.0	4.2	8.2	4.2	14.6	52.1	6.9	5.2
	女	府外在住	子どもがいない 未婚 (n=221)	0.5	—	0.9	0.5	1.4	2.7	5.9	10.9	18.1	46.2	9.5	3.6
			子どもがいない 既婚 (n=124)	—	0.8	—	0.8	—	—	23.4	4.0	14.5	45.2	9.7	1.6
		子どもがいる (n=443)		—	—	0.5	0.2	1.8	1.1	4.3	4.7	16.7	61.2	6.5	2.9
性	女	府内在住	子どもがいない 未婚 (n=126)	1.6	1.6	0.8	0.8	1.6	0.8	18.3	7.1	16.7	40.5	7.1	3.2
			子どもがいない 既婚 (n=47)	—	2.1	—	2.1	—	2.1	12.8	8.5	23.4	31.9	10.6	6.4
		子どもがいる (n=84)		1.2	1.2	—	2.4	2.4	4.8	13.1	14.3	11.9	42.9	6.0	—
	女	府外在住	子どもがいない 未婚 (n=128)	—	0.8	0.8	0.8	—	3.1	8.6	9.4	19.5	52.3	2.3	2.3
			子どもがいない 既婚 (n=32)	—	—	—	3.1	3.1	3.1	9.4	3.1	15.6	50.0	12.5	—
		子どもがいる (n=28)		—	—	—	—	3.6	3.6	7.1	10.7	21.4	46.4	3.6	3.6

性・居住地・就労状況別（図表 2-6-4）にみると、「100～199 人」規模の職場に勤務する者は、府外在住の非正規雇用の男性（20.3%）と、府内在住の正規雇用の女性（19.0%）に、それぞれ 2 割程度と、他の層よりも多い。また、府外在住の正規雇用の女性は、「1,000 人以上」規模の職場に勤務する者が 56.1%を占め、府内在住の女性（正規 40.0%、39.4%）と差が大きい。

図表 2-6-4 現在の職場の従業員・職員規模（性・居住地・就労状況別）

			1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100～199人	200～299人	300～999人	1,000人以上	官公庁・独立行政法人	無回答	(%)
全 体 (n=2,231)			0.3	0.4	0.5	1.0	1.4	2.8	9.2	6.5	16.0	50.8	6.9	4.0	
男 性	府内在住	正 規 雇 用 (n=777)	0.4	0.3	0.6	1.4	0.9	3.6	9.3	5.8	14.3	50.8	7.5	5.1	
		非正規雇用 (n=139)	－	0.7	－	1.4	4.3	4.3	6.5	4.3	15.8	51.8	5.8	5.0	
	府外在住	正 規 雇 用 (n=685)	0.1	0.1	0.4	0.1	1.3	1.6	5.4	6.6	17.4	55.6	7.9	3.4	
		非正規雇用 (n=123)	－	－	0.8	1.6	1.6	－	20.3	5.7	13.0	48.0	6.5	2.4	
女 性	府内在住	正 規 雇 用 (n=200)	－	1.0	－	1.0	0.5	2.5	19.0	9.0	16.0	40.0	8.0	3.0	
		非正規雇用 (n=71)	4.2	2.8	1.4	2.8	4.2	4.2	7.0	9.9	16.9	39.4	4.2	2.8	
	府外在住	正 規 雇 用 (n=155)	－	－	－	－	0.6	2.6	7.7	7.7	17.4	56.1	4.5	3.2	
		非正規雇用 (n=38)	－	2.6	2.6	5.3	2.6	5.3	10.5	10.5	28.9	26.3	2.6	2.6	

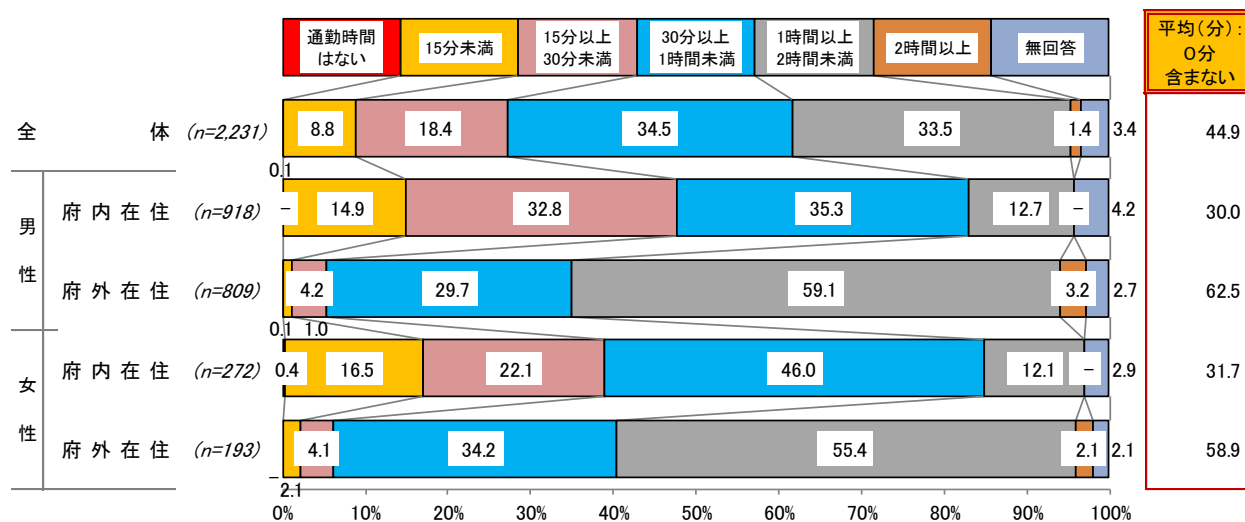
(7) 通勤所要時間

【現在仕事をしている方（問15で「1」～「9」と答えた方）にお聞きします。】

問18 ふだん、あなたの職場まで、片道の通勤時間はどれだけかかりますか。

自宅と仕事場が同じなど、通勤していない方は、「0分」とご記入ください。

図表 2-7-1



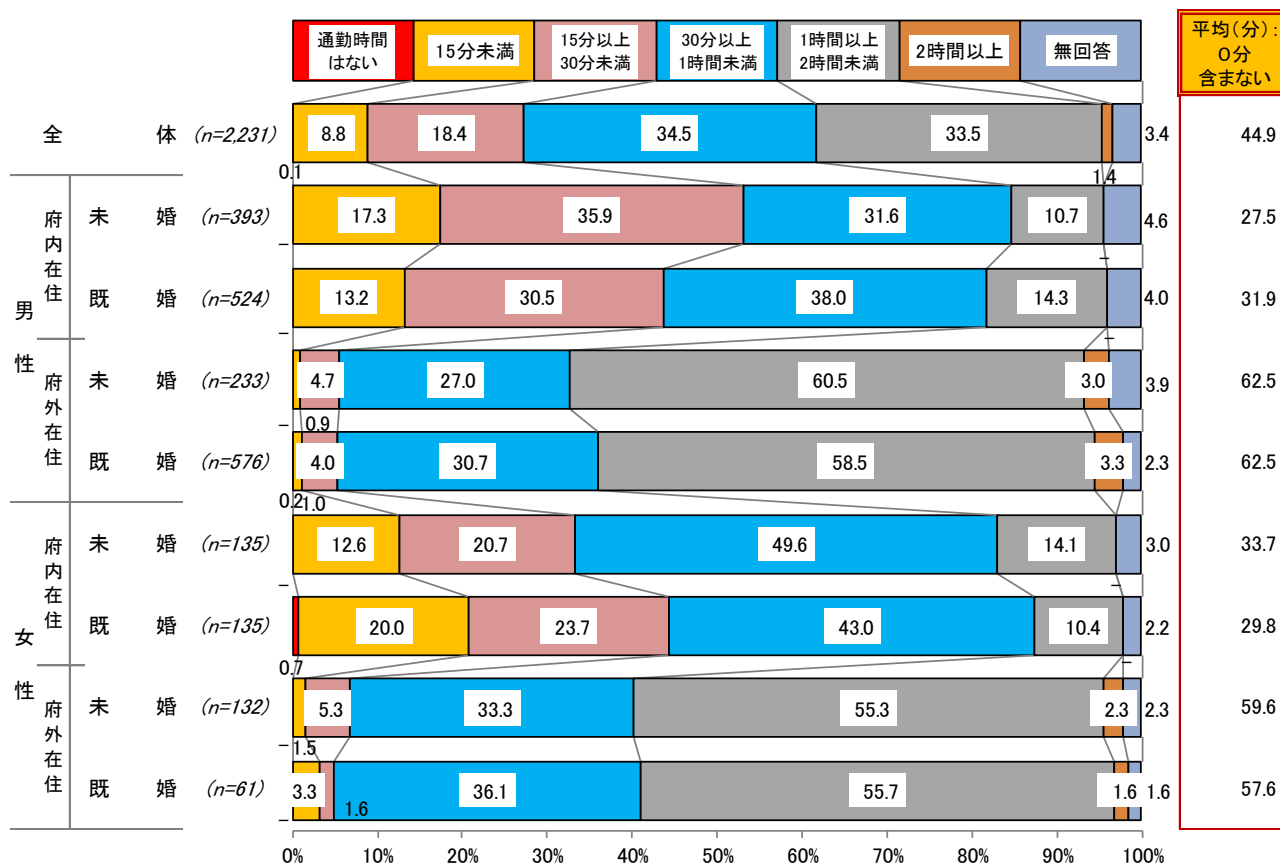
ふだんの職場までの片道の通勤時間を聞いたところ(図表 2-7-1)、「30分以上1時間未満」が34.5%、「1時間以上2時間未満」が33.5%、「15分以上30分未満」が18.4%で、通勤時間を平均すると44.9分である。

性・居住地別にみると(図表 2-7-1)、府内就労者を対象としているため、府外在住者(男性62.5分、女性58.9分)より、府内在住者(男性30.0分、女性31.7分)の方が平均通勤時間は大幅に短い。

居住地での男女別には、大きな差はみられない。

性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 2-7-2）、府内在住者は、男性は未婚者が平均 27.5 分、既婚者が 31.9 分で既婚者の方がやや長い、女性は未婚者 33.7 分に対して、既婚者が 29.8 分と未婚者の方がやや長くなっている。一方、府外在住者では、男性は未既婚ともに平均 62.5 分であるのに対して、女性は未婚者 59.6 分、既婚者 57.6 分と、府内在住の女性と同様に既婚者の方が短く、男性より女性の通勤時間の方が、やや短くなっている。

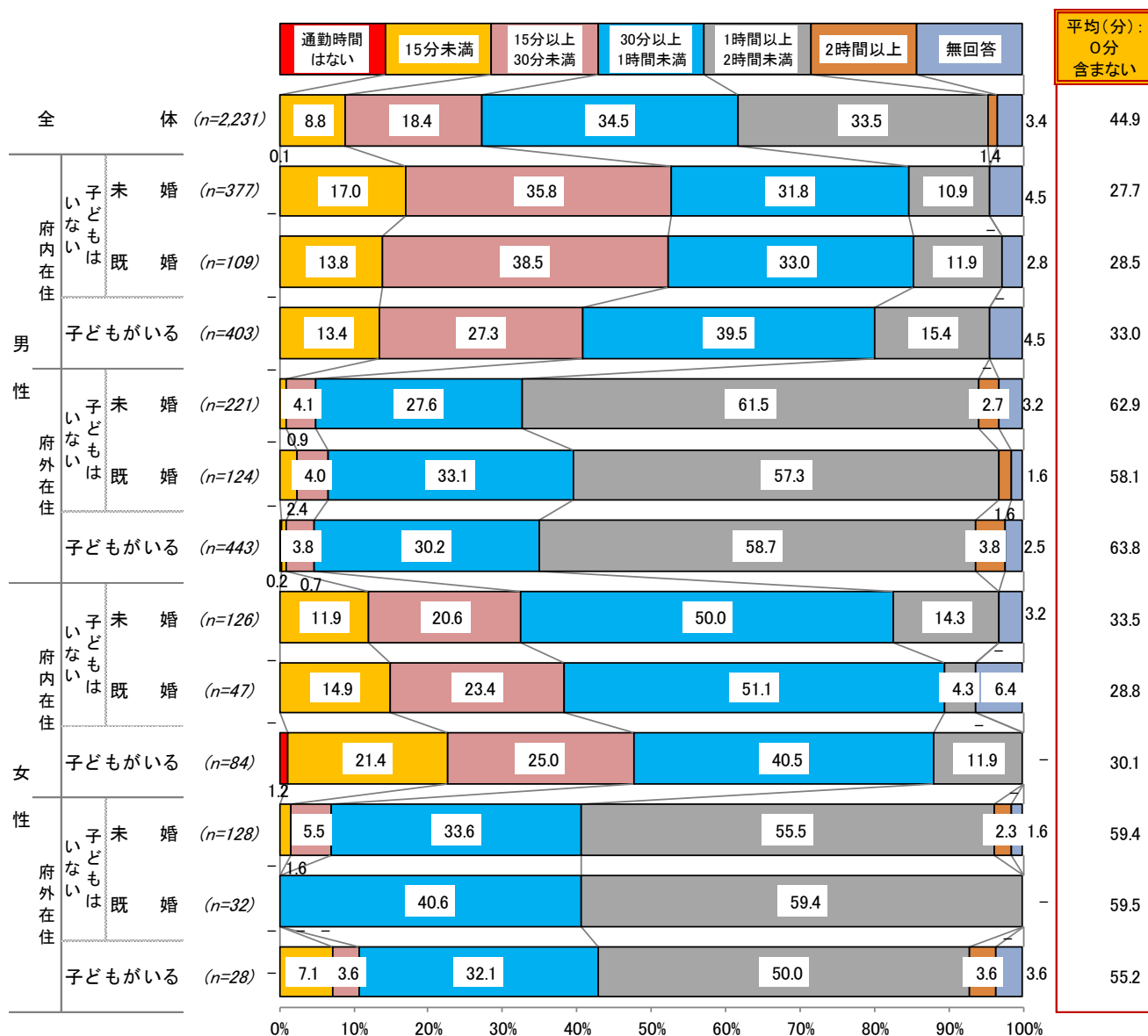
図表 2-7-2 通勤所要時間（性・居住地・婚姻状況別）



性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 2-7-3）、府内在住の男性では、子どもがいない者（未婚 27.7 分、既婚 28.5 分）よりも子どもがいる者（33.0 分）の方が平均通勤時間は長い。府外在住の男性は、子どものいない既婚者の通勤時間（58.1 分）が短くなっている。

一方、府内在住の女性では、子どものいる者が平均 30.1 分と、子どものいない未婚者（33.5 分）よりも、平均所要時間が短い。

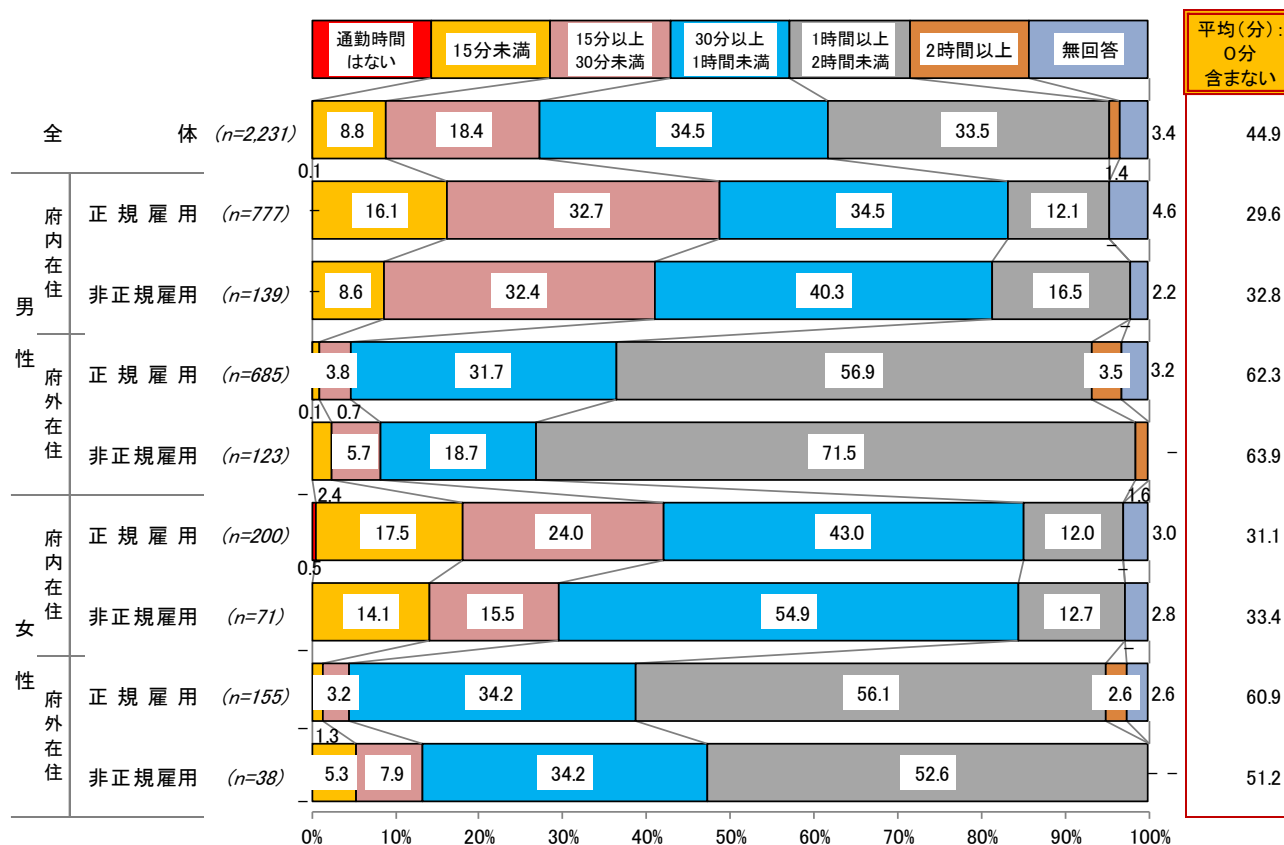
図表 2-7-3 通勤所要時間（性・居住地・子どもの有無別）



性・居住地・就労状況別にみると（図表 2-7-4）、府内在住者では、正規雇用の男性が 29.6 分で最も平均所要時間が短く、次いで正規雇用者の女性が 31.1 分、非正規雇用の男性が 32.8 分、非正規雇用の女性が 33.4 分となっている。

一方、府外在住者では、正規雇用の女性が 60.9 分で、正規雇用の男性が 62.3 分、非正規雇用の男性が 63.9 分である。

図表 2-7-4 通勤所要時間（性・居住地・就労状況別）



（８）１週間の就労日数と時間

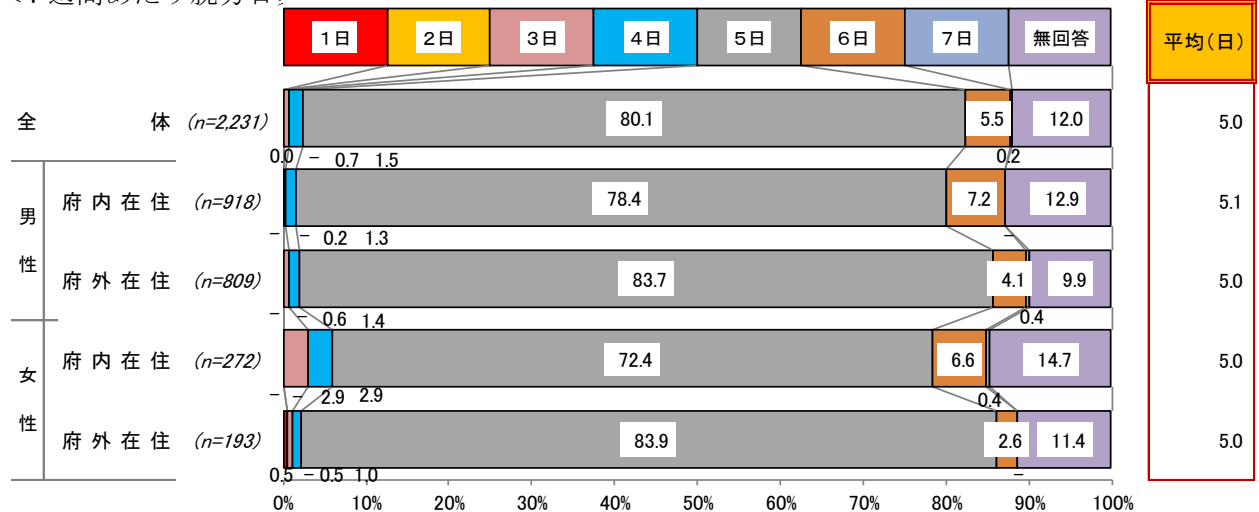
【現在仕事をしている方（問１５で「１」～「９」と答えた方）にお聞きします。】

問１９ ふだん、あなたは、普段１週間に何日、１日あたり何時間仕事をしていますか。

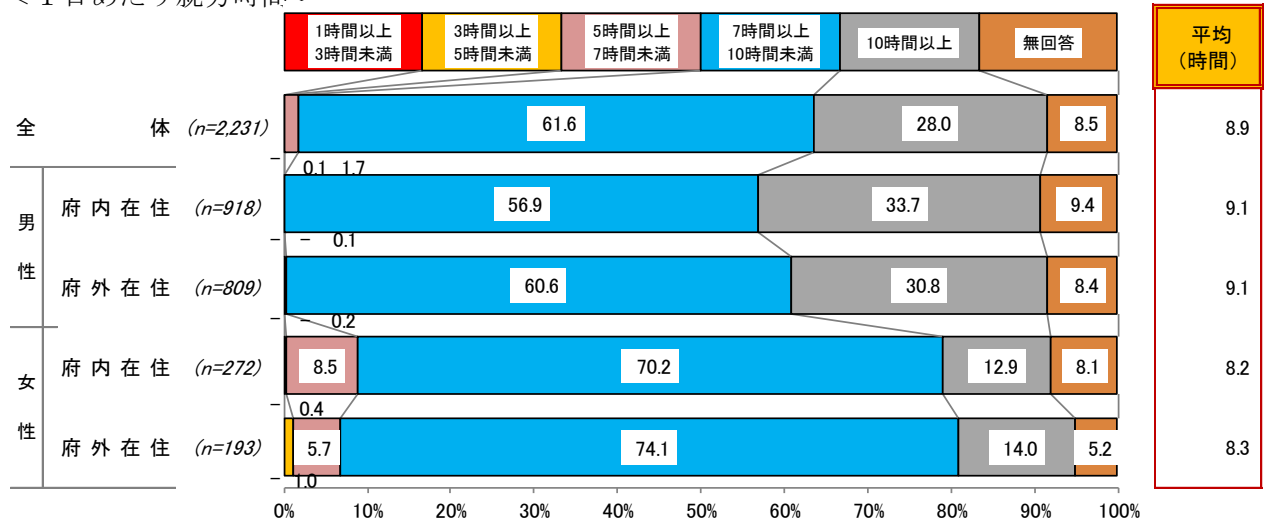
残業も含めて、平均的な働き方でお答えください。

図表 2-8-1

< １週間あたり就労日数 >



< １日あたり就労時間 >



普段の１週間の就労日数は、「５日」が 80.1% で最も多く、次いで「６日」(5.5%) となっており、平均すると 5.0 日である（図表 2-8-1・上）。

性・居住地別にみると（図表 2-8-1・上）、平均就労日数に差はみられないが、男女ともに１週間に「５日」働いている者は、府内在住者（男性 78.4%、女性 72.4%）よりも府外在住者（男性 83.7%、女性 83.9%）に多い。

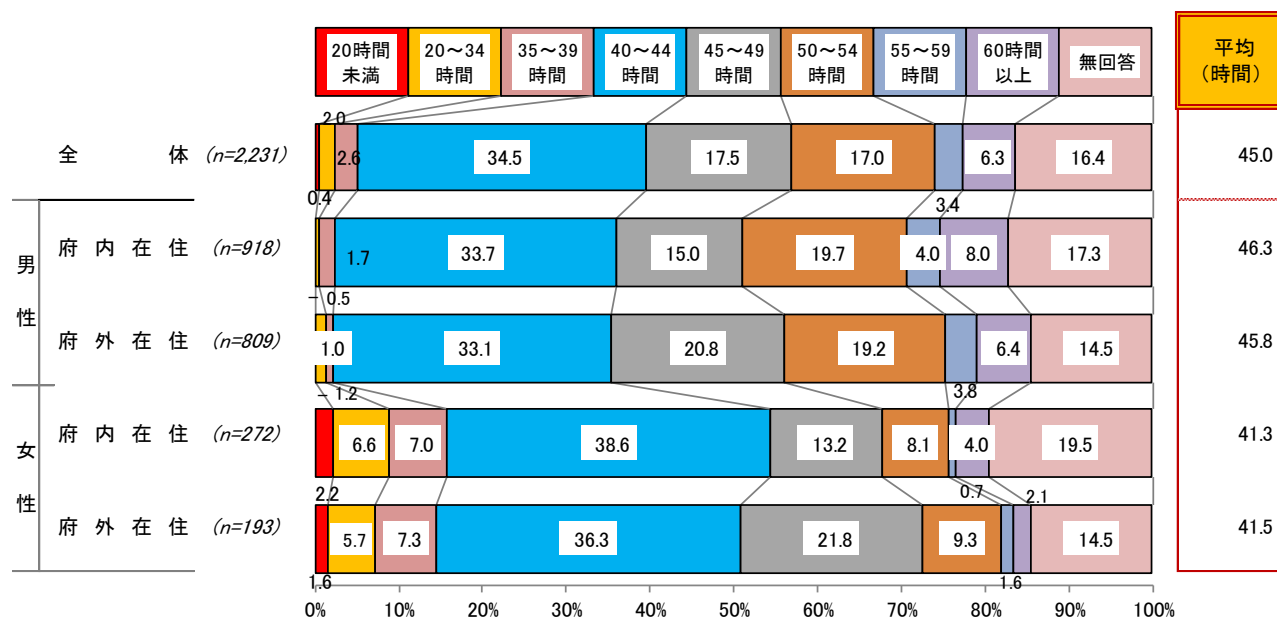
１日の就労時間は、「７時間以上 10 時間未満」が 61.6% で、次いで「10 時間以上」が 28.0% で続き、平均すると 1 日平均 8.9 時間となっている（図表 2-8-1・下）。

性・居住地別にみると（図表 2-8-1・下）、居住地による差ではなく、男女差が 1 時間程度みられる。

参考として、週当たりの労働時間を算出すると（参考 2-8）、男性の平均週労働時間は府内在住者が 46.3 時間、府外在住者は 45.8 時間である。

一方、女性の府内在住者では平均 41.3 時間、府外在住者は 41.5 時間となっている。

参考 2-8 週労働時間

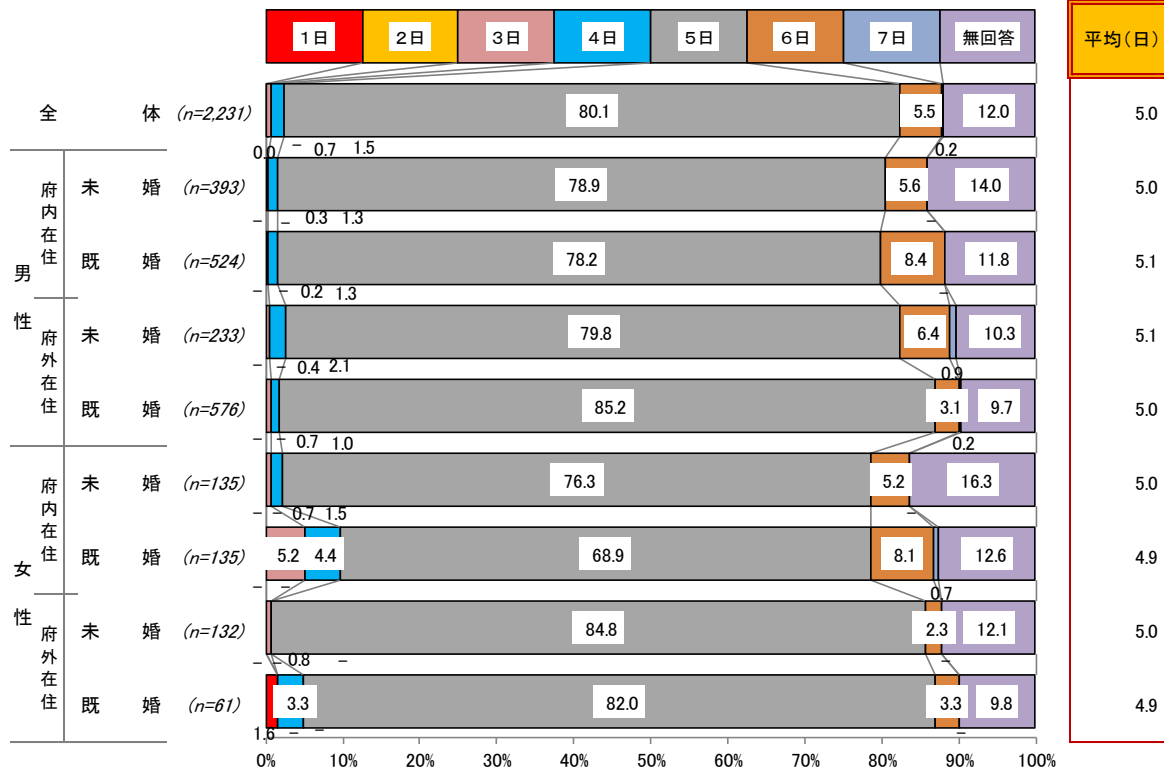


性・居住地・婚姻状況別に1週間の就労日数をみても、大きな差はみられない(図表2-8-2・上)。

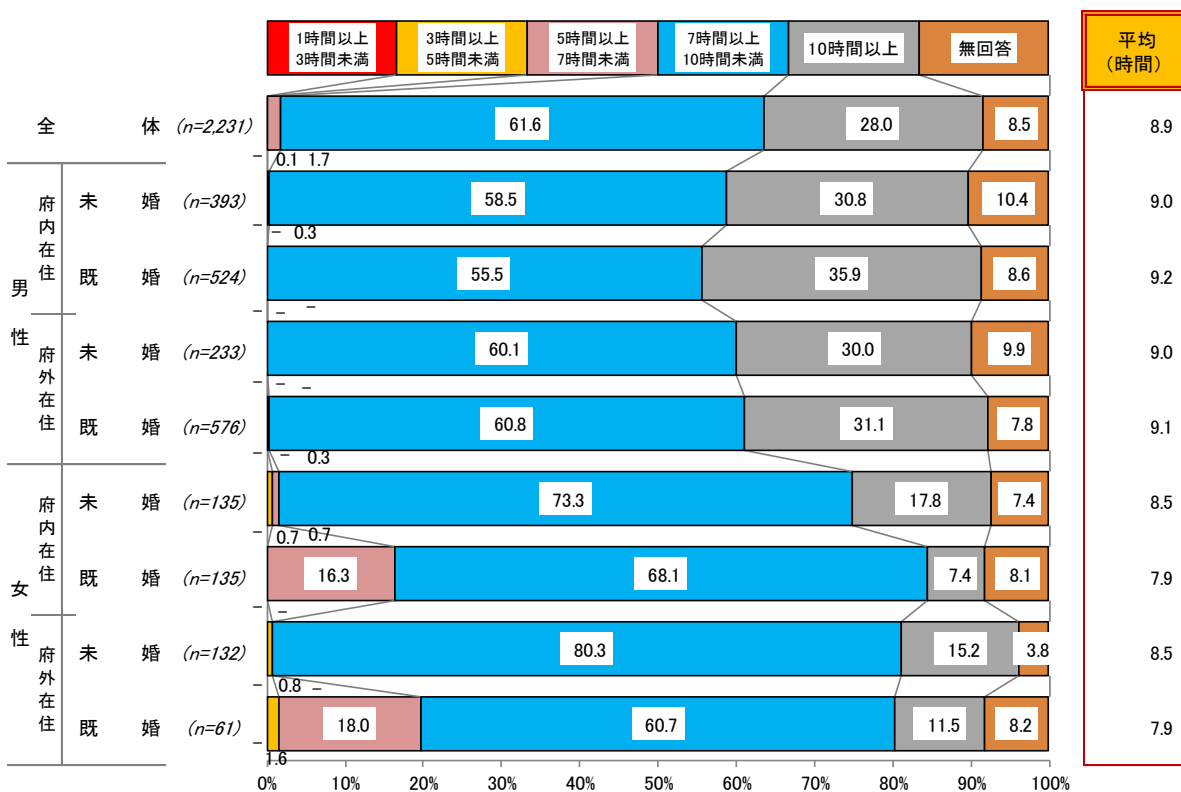
性・居住地・婚姻状況別に1日の就労時間をみると(図表2-8-2・下)、男性は婚姻状況による大きな差はみられない。一方、女性は居住地にかかわらず、既婚者で「5時間以上7時間未満」(府内16.3%、府外18.0%)が、未婚者で「7時間以上10時間未満」(同73.3%、80.3%)がそれぞれ他の層よりも多く、居住地にかかわらず、未婚者は平均8.5時間、既婚者は7.9時間となっている。

図表 2-8-2 1週間の就労日数と時間(性・居住地・婚姻状況別)

<1週間あたり就労日数>

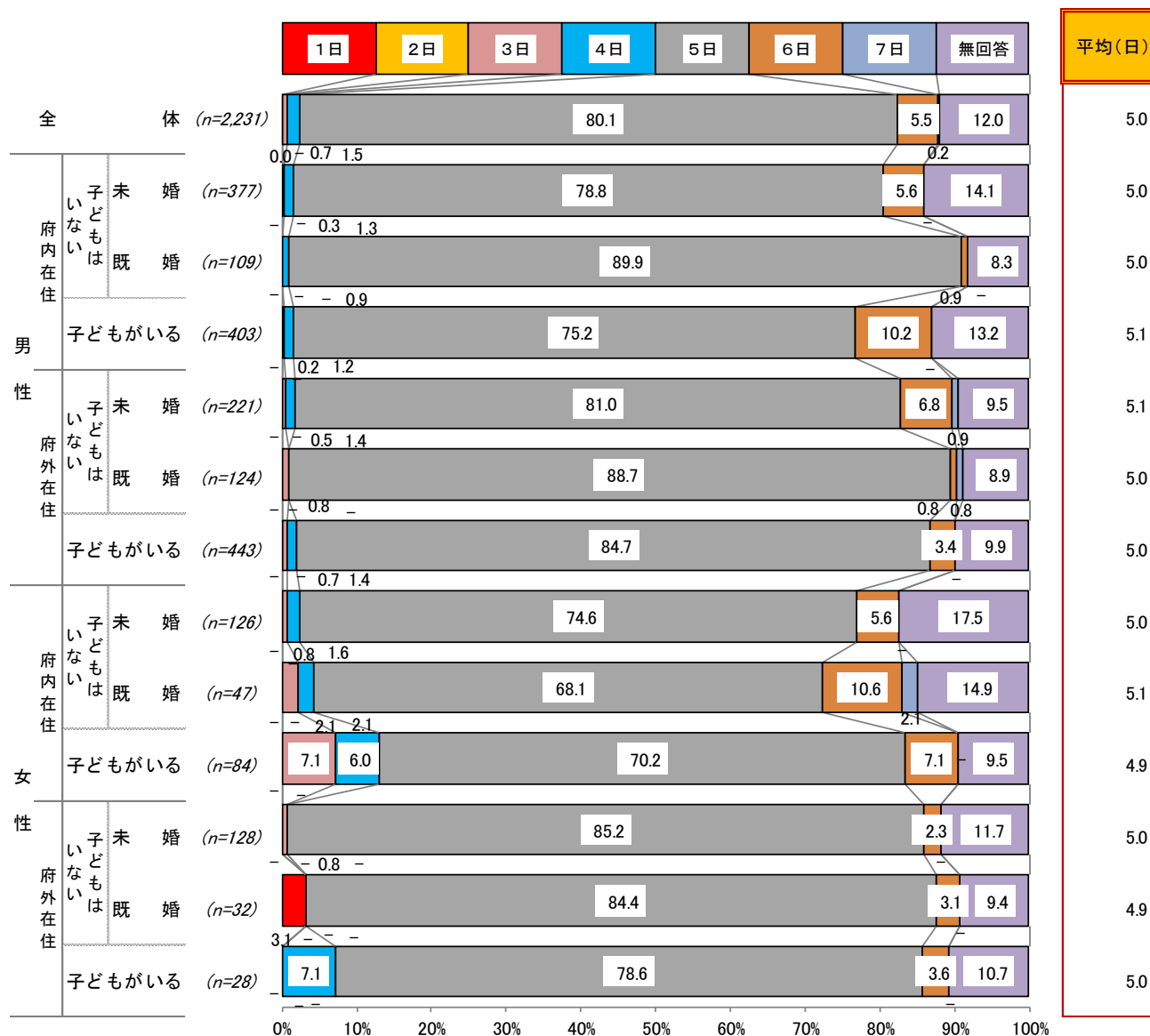


<1日あたり就労時間>



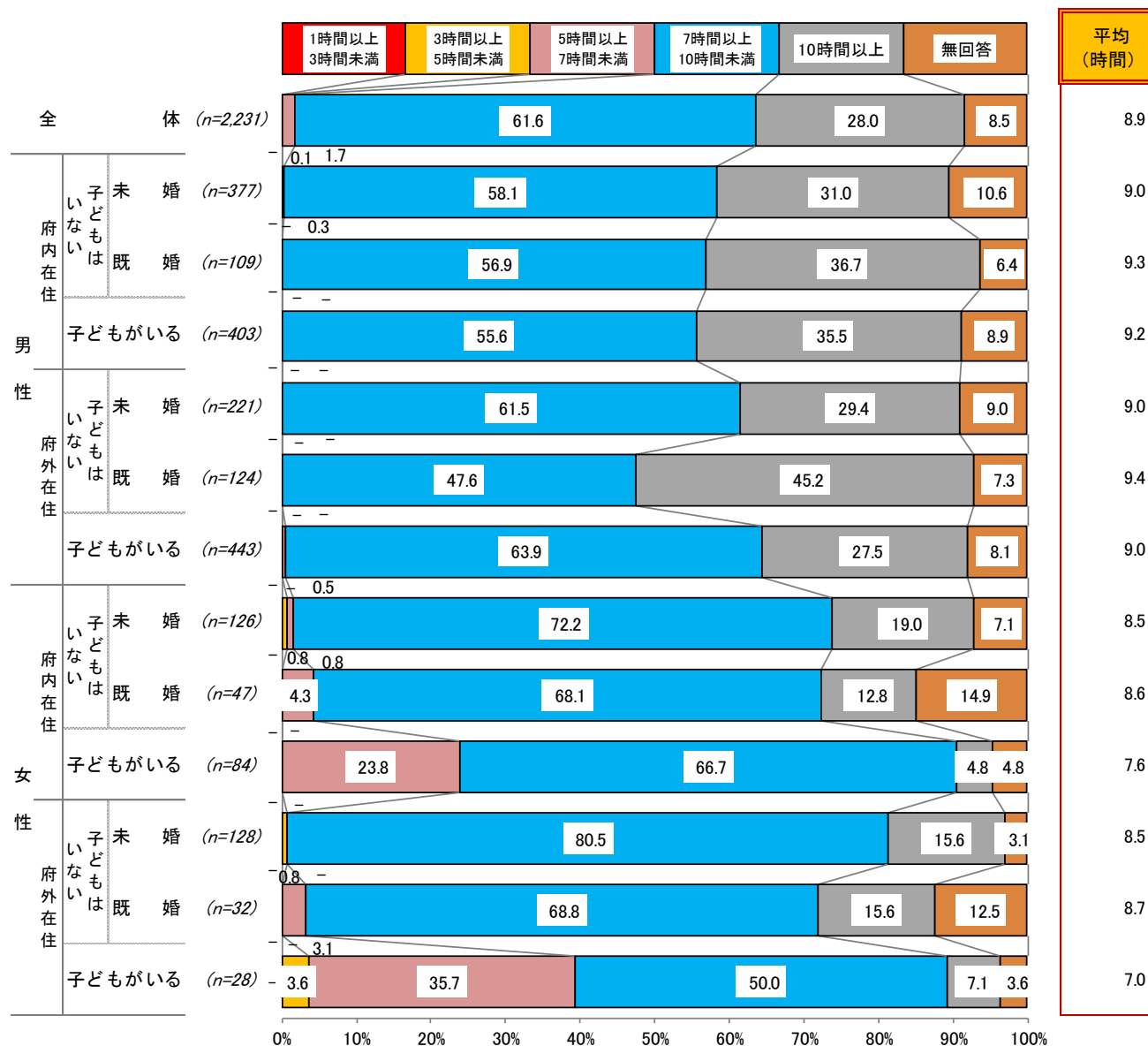
性・居住地・子どもの有無別に1週間の就労日数をみると（図表2-8-3）、平均すると就労日数に大きな差はみられないが、「6日」という者は、府内在住の子どもがいる男性（10.2%）と子どもがいない既婚女性（10.6%）で、それぞれ1割とやや多い。一方、府内在住の子どものいる女性では、1週間あたり「3日」（7.1%）、「4日」（6.0%）という者がやや多くなっている。

図表 2-8-3 1週間の就労日数（性・居住地・子どもの有無別）



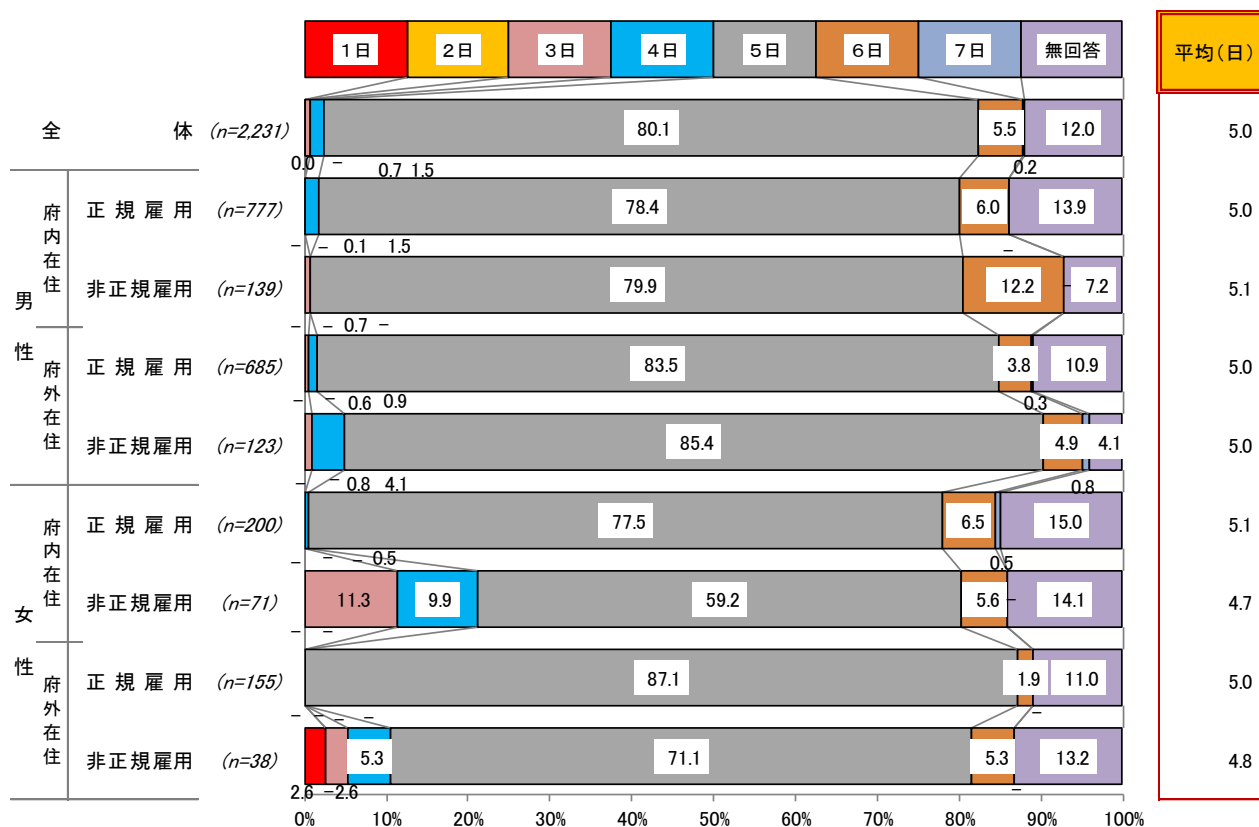
1日の就労時間をみると（図表 2-8-4）、男性では平均時間の差は小さいが、府外在住の子どものいない既婚者で1日あたり「10 時間以上」という者が 45.2%と多くなっている。一方、女性では、府内在住の子どものいる女性は、1 日あたり「7 時間以上 10 時間未満」（66.7%）に次いで、「5 時間以上 7 時間未満」（23.8%）が多く、1 日平均 7.6 時間と、子どものいない未婚女性（8.5 時間）と 1 時間程度の差がある。

図表 2-8-4 1 日の就労時間（性・居住地・子どもの有無別）



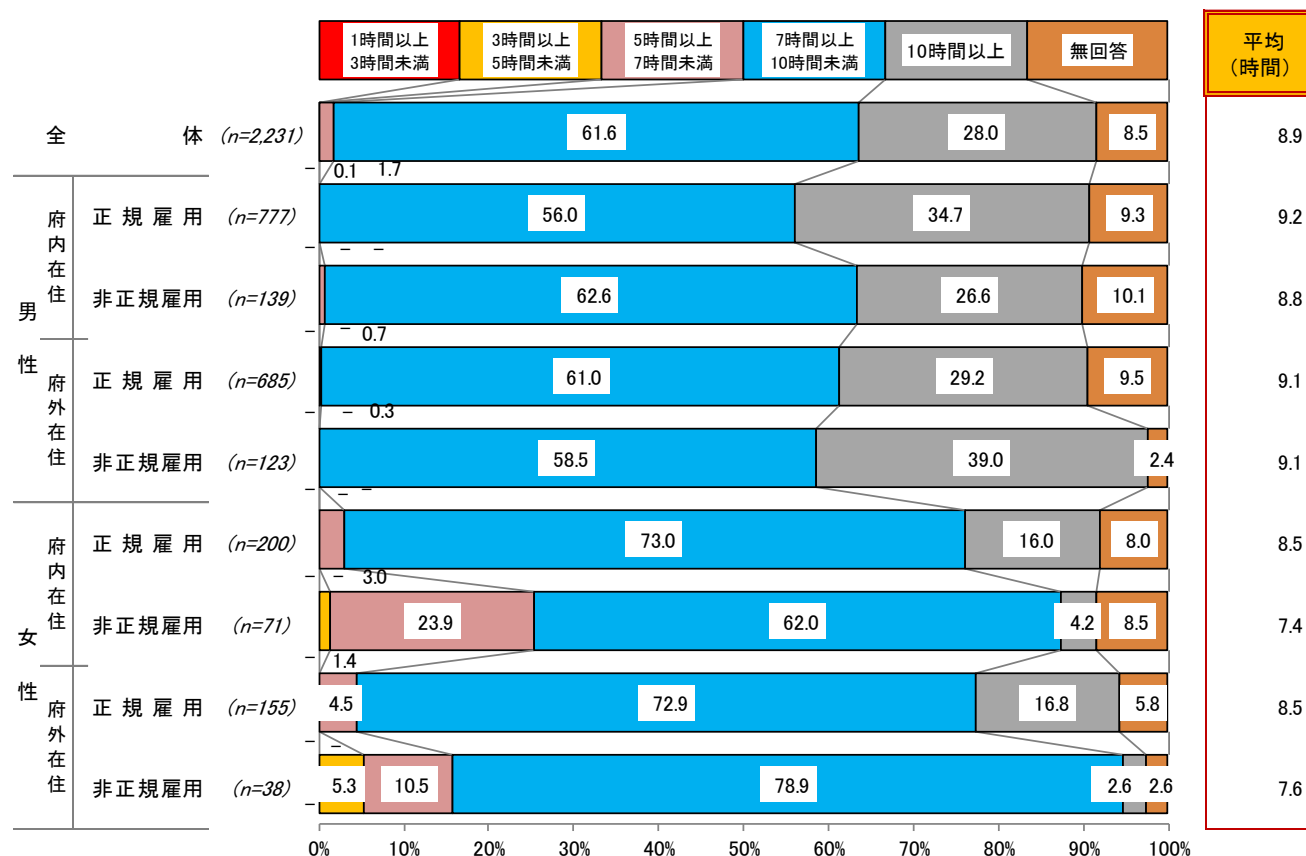
性・居住地・就労状況別に1週間の就労日数をみると（図表2-8-5）、男性は就労状況による大きな差はみられない。府内在住の女性は、正規雇用者で「5日」が77.5%で、1週間あたりの平均が5.1日であるのに対し、非正規雇用者では「5日」の59.2%に次いで、「3日」が11.3%、「4日」が9.9%となっており、平均すると1週間あたり4.7日である。

図表 2-8-5 1週間の就労日数（性・居住地・就労状況別）



1日の就労時間をみると（図表 2-8-6）、男性では、府外在住の非正規雇用者で「10 時間以上」という者が 39.0%と多く、平均すると 1 日あたり 9.1 時間で、府内在住の非正規雇用者（8.8%）より就労時間がやや長い。一方、女性では、正規雇用者は居住地による差はみられない。府内在住の非正規雇用者は「7 時間以上 10 時間未満」（62.0%）に次いで、「5 時間以上 7 時間未満」（23.9%）という者が 2 割を上回り、平均すると 7.4 時間となり、正規雇用者と 1 時間程度の開きがある。

図表 2-8-6 1 日の就労時間（性・居住地・就労状況別）



(9) 現在の勤務状況

【現在仕事をしている方（問15で「1」～「9」と答えた方）にお聞きします。】

問20 あなたの現在の勤務状況として、あてはまるものをいくつでもお選びください。

図表 2-9-1

		残業時間が長い	在宅勤務制度がない	有給休暇が取りにくい	フレックスタイム制度が使えない	通勤時間が長い	夜勤などがある、多い	ある単身赴任をすることがある	休日出勤が多い	出張が多い	転勤が多い	いずれもあてはまらない	無回答
全 体 (n=2,231)		25.1	24.1	21.0	18.1	15.5	12.6	10.6	9.1	5.8	5.6	23.3	4.6
男 性	府 内 在 住 (n=918)	29.5	19.9	21.2	16.7	6.0	18.7	11.2	13.1	6.5	5.8	23.3	5.4
	府 外 在 住 (n=809)	25.8	25.6	18.4	17.4	27.3	11.1	14.0	7.5	6.9	6.8	19.0	4.1
女 性	府 内 在 住 (n=272)	11.4	31.3	23.2	18.0	6.6	3.7	2.9	4.8	2.2	2.2	34.2	4.0
	府 外 在 住 (n=193)	21.2	28.5	27.5	30.1	24.9	2.1	5.2	2.1	3.1	3.6	24.4	3.1

現在の勤務状況としては（図表 2-9-1）、「残業時間が長い」（25.1％）が最も多くあげられ、以下「在宅勤務制度がない」（24.1％）、「有給休暇が取りにくい」（21.0％）、「フレックスタイム制度が使えない」（18.1％）などの順となっている。

「いずれもあてはまらない」という者は 23.3％である。

性・居住地別にみると（図表 2-9-1）、男性では、「在宅勤務制度がない」（府内 19.9％、府外 25.6％）及び「通勤時間が長い」（同 6.0％、27.3％）は府内在住者よりも府外在住者に多くあげられ、「夜勤などがある、多い」（同 18.7％、11.1％）は府内在住者の方が府外在住者よりも多くあげられている。

女性では、「残業時間が長い」（府内 11.4％、府外 21.2％）、「フレックスタイム制度が使えない」（同 18.0％、30.1％）、「通勤時間が長い」（同 6.6％、24.9％）は、府内在住者よりも府外在住者に多くあげられている。

居住地で男女別にみると、府内在住者では「残業時間が長い」（男性 29.5％、女性 11.4％）、「夜勤などがある、多い」（同 18.7％、3.7％）、「単身赴任をすることがある」（同 11.2％、2.9％）、「休日出勤が多い」（同 13.1％、4.8％）などは女性より男性に、「在宅勤務制度がない」（同 19.9％、31.3％）は男性より女性に多くあげられている。

府外在住者では、「有給休暇が取りにくい」（同 18.4％、27.5％）と「フレックスタイム制度が使えない」（同 17.4％、30.1％）は男性より女性に、「夜勤などがある、多い」（同 11.1％、2.1％）と「単身赴任をすることがある」（同 14.0％、5.2％）は女性より男性に、それぞれ多くあげられている。

性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 2-9-2）、府内在住の男性では、「有給休暇が取りにくい」（未婚 17.6%、既婚 24.0%）が、未婚者よりも既婚者に多い。一方、府外在住の男性では、「残業時間が長い」（未婚 19.7%、既婚 28.3%）、「在宅勤務制度がない」（同 20.2%、27.8%）、「単身赴任をすることがある」（同 9.0%、16.0%）などが未婚者よりも既婚者に、「通勤時間が長い」（同 31.8%、25.5%）は既婚者より未婚者に、それぞれ多くあげられている。

女性では、府内在住者で、「有給休暇が取りにくい」（同 26.7%、19.3%）が、既婚者より未婚者に多くあげられている。一方、府外在住者では、「在宅勤務制度がない」（23.5%、39.3%）と「フレックスタイム制度が使えない」（同 22.7%、45.9%）は未婚者よりも既婚者に、「有給休暇が取りにくい」（同 29.5%、23.0%）、「通勤時間が長い」（同 27.3%、19.7%）、「残業時間が長い」（同 24.2%、14.8%）は既婚者より未婚者に、それぞれ多い。

図表 2-9-2 現在の勤務状況（性・居住地・婚姻状況別）

				(%)											
				残業時間が長い	在宅勤務制度がない	有給休暇が取りにくい	フレックスタイム制度が使えない	通勤時間が長い	夜勤などがある、多い	単身赴任をすることがある	休日出勤が多い	出張が多い	転勤が多い	いずれもあてはまらない	無回答
全		体	(n=2,231)	25.1	24.1	21.0	18.1	15.5	12.6	10.6	9.1	5.8	5.6	23.3	4.6
男 性	府内在住	未婚	(n=393)	30.3	21.1	17.6	16.3	3.8	17.3	9.4	13.5	6.1	7.1	24.2	5.6
		既婚	(n=524)	29.0	19.1	24.0	17.0	7.6	19.7	12.6	12.8	6.9	4.8	22.7	5.3
	府外在住	未婚	(n=233)	19.7	20.2	20.2	15.0	31.8	11.2	9.0	10.7	6.0	7.3	19.7	5.6
		既婚	(n=576)	28.3	27.8	17.7	18.4	25.5	11.1	16.0	6.3	7.3	6.6	18.8	3.5
女 性	府内在住	未婚	(n=135)	11.1	29.6	26.7	20.0	7.4	6.7	4.4	4.4	2.2	3.7	31.1	4.4
		既婚	(n=135)	11.1	32.6	19.3	16.3	5.9	0.7	1.5	5.2	2.2	-	37.8	3.0
	府外在住	未婚	(n=132)	24.2	23.5	29.5	22.7	27.3	3.0	4.5	2.3	2.3	3.0	24.2	3.0
		既婚	(n=61)	14.8	39.3	23.0	45.9	19.7	-	6.6	1.6	4.9	4.9	24.6	3.3

性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 2-9-3）、府外在住の男性では、子どものいない既婚者で「残業時間が長い」（41.1％）と「在宅勤務制度がない」（36.3％）が他の層よりも多くあげられている。また、「通勤時間が長い」は、子どものいない未婚男性（32.1％）と子どもがいる者（26.6％）で 3 割前後となっている。一方、府内在住の男性は「有給休暇が取りにくい」が子どもがいる者（24.8％）にやや多くなっている。

女性では、「在宅勤務制度がない」が、府内在住の子どもがいる者（32.1％）と子どものいない既婚者（36.2％）に、やや多くあげられている。一方、府外在住の子どもがいない未婚者では、「通勤時間が長い」（27.3％）が 3 割近くあげられ、府内在住者より多くなっている。

図表 2-9-3 現在の勤務状況（性・居住地・子どもの有無別）

(%)

				残業時間が長い	在宅勤務制度がない	有給休暇が取りにくい	フレックスタイム制度が使えない	通勤時間が長い	夜勤などがある、多い	ある単身赴任をすることが	休日出勤が多い	出張が多い	転勤が多い	いずれはまらない	無回答
全 体 (n=2,231)				25.1	24.1	21.0	18.1	15.5	12.6	10.6	9.1	5.8	5.6	23.3	4.6
性	男	府内在住	子どもがいない未婚 (n=377)	30.2	21.0	17.8	16.4	3.7	17.8	9.5	13.0	6.1	7.4	23.3	5.6
			子どもがいない既婚 (n=109)	34.9	19.3	22.0	17.4	4.6	18.3	12.8	11.0	7.3	6.4	24.8	4.6
			子どもがいる (n=403)	27.8	18.9	24.8	17.1	8.9	19.9	12.7	13.6	6.7	4.5	22.1	5.5
	女	府外在住	子どもがいない未婚 (n=221)	20.8	20.8	20.8	15.4	32.1	10.9	9.5	11.3	5.9	7.7	19.5	5.0
			子どもがいない既婚 (n=124)	41.1	36.3	19.4	18.5	19.4	10.5	15.3	6.5	10.5	5.6	18.5	2.4
			子どもがいる (n=443)	25.1	25.5	16.9	18.3	26.6	11.3	16.3	6.3	6.3	6.8	18.7	3.8
性	女	府内在住	子どもがいない未婚 (n=126)	11.9	30.2	27.0	19.8	7.9	5.6	4.8	4.8	2.4	4.0	31.7	4.8
			子どもがいない既婚 (n=47)	14.9	36.2	19.1	17.0	2.1	-	-	6.4	6.4	-	31.9	6.4
			子どもがいる (n=84)	8.3	32.1	17.9	16.7	6.0	1.2	2.4	4.8	-	-	42.9	1.2
	女	府外在住	子どもがいない未婚 (n=128)	25.0	23.4	29.7	23.4	27.3	3.1	4.7	2.3	2.3	3.1	25.0	2.3
			子どもがいない既婚 (n=32)	21.9	40.6	31.3	53.1	25.0	-	12.5	-	9.4	9.4	18.8	-
			子どもがいる (n=28)	7.1	35.7	14.3	35.7	14.3	-	-	3.6	-	-	32.1	7.1

性・居住地・就労状況別にみると（図表 2-9-4）、府内在住の男性では、「夜勤などがある、多い」（正規 17.1%、非正規 28.1%）が正規雇用者よりも非正規雇用者に多くあげられている。一方、府内在住の女性では、「有給休暇が取りにくい」（同 27.0%、12.7%）が非正規雇用者よりも正規雇用者に、「いずれもあてはまらない」（29.5%、47.9%）は正規雇用者よりも非正規雇用者に、それぞれ多くあげられている。

正規雇用の女性をみると、「フレックスタイム制度が使えない」（府内 20.5%、府外 32.3%）、「通勤時間が長い」（同 6.0%、27.7%）、「残業時間が長い」（同 13.0%、23.2%）などは、府内在住者より府外在住者に多くあげられている。

図表 2-9-4 現在の勤務状況（性・居住地・就労状況別）

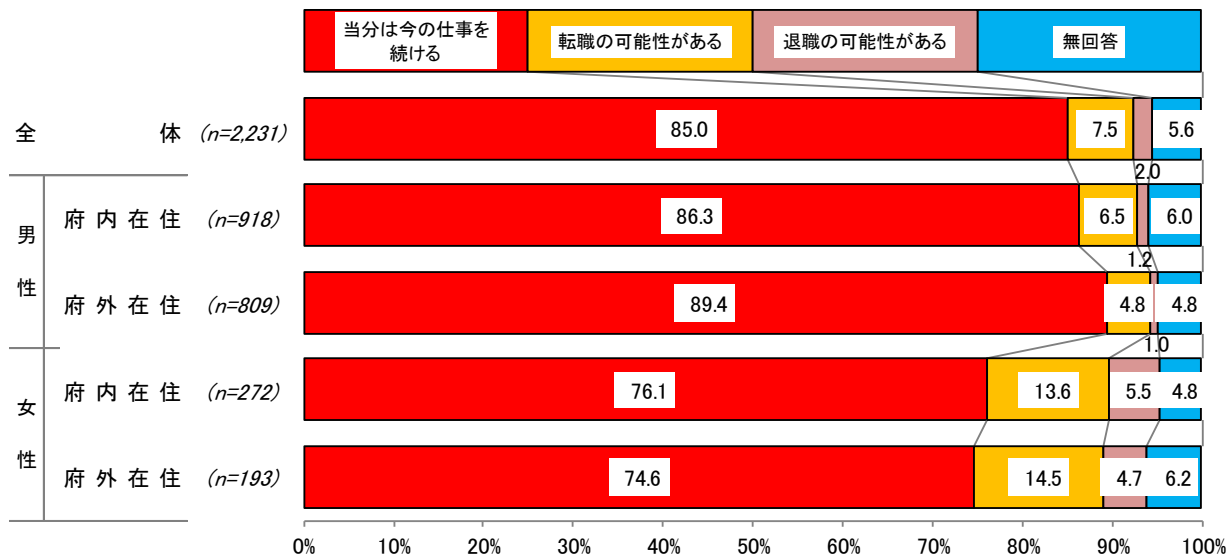
				(%)													
				残業時間が長い	在宅勤務制度がない	有給休暇が取りにくい	フレックスタイム制度が使えない	通勤時間が長い	夜勤などがある、多い	単身赴任をすることがある	休日出勤が多い	出張が多い	転勤が多い	いずれもあてはまらない	無回答		
全 体 (n=2,231)				25.1	24.1	21.0	18.1	15.5	12.6	10.6	9.1	5.8	5.6	23.3	4.6		
男性	府内在住	正 規 雇 用 (n=777)	30.6	20.2	21.5	17.1	6.2	17.1	12.1	12.5	5.9	5.3	23.7	6.0			
		非正規雇用 (n=139)	23.7	18.0	19.4	13.7	5.0	28.1	6.5	15.8	10.1	8.6	21.6	2.2			
	府外在住	正 規 雇 用 (n=685)	24.8	25.0	18.5	17.4	28.0	11.1	14.6	7.4	7.2	7.6	18.5	4.4			
		非正規雇用 (n=123)	31.7	29.3	17.9	17.9	23.6	11.4	10.6	8.1	5.7	2.4	21.1	2.4			
女性	府内在住	正 規 雇 用 (n=200)	13.0	34.0	27.0	20.5	6.0	3.0	4.0	3.5	2.5	2.5	29.5	4.0			
		非正規雇用 (n=71)	7.0	22.5	12.7	11.3	8.5	5.6	—	7.0	—	1.4	47.9	4.2			
	府外在住	正 規 雇 用 (n=155)	23.2	29.7	31.0	32.3	27.7	2.6	6.5	2.6	2.6	4.5	18.1	3.2			
		非正規雇用 (n=38)	13.2	23.7	13.2	21.1	13.2	—	—	—	5.3	—	50.0	2.6			

(10) 現職の継続見通し

【現在仕事をしている方（問15で「1」～「9」と答えた方）にお聞きします。】

問21 あなたの現在の仕事について、今後の継続見通しは、いかがですか。あてはまるものを1つお選びください。

図表 2-10-1



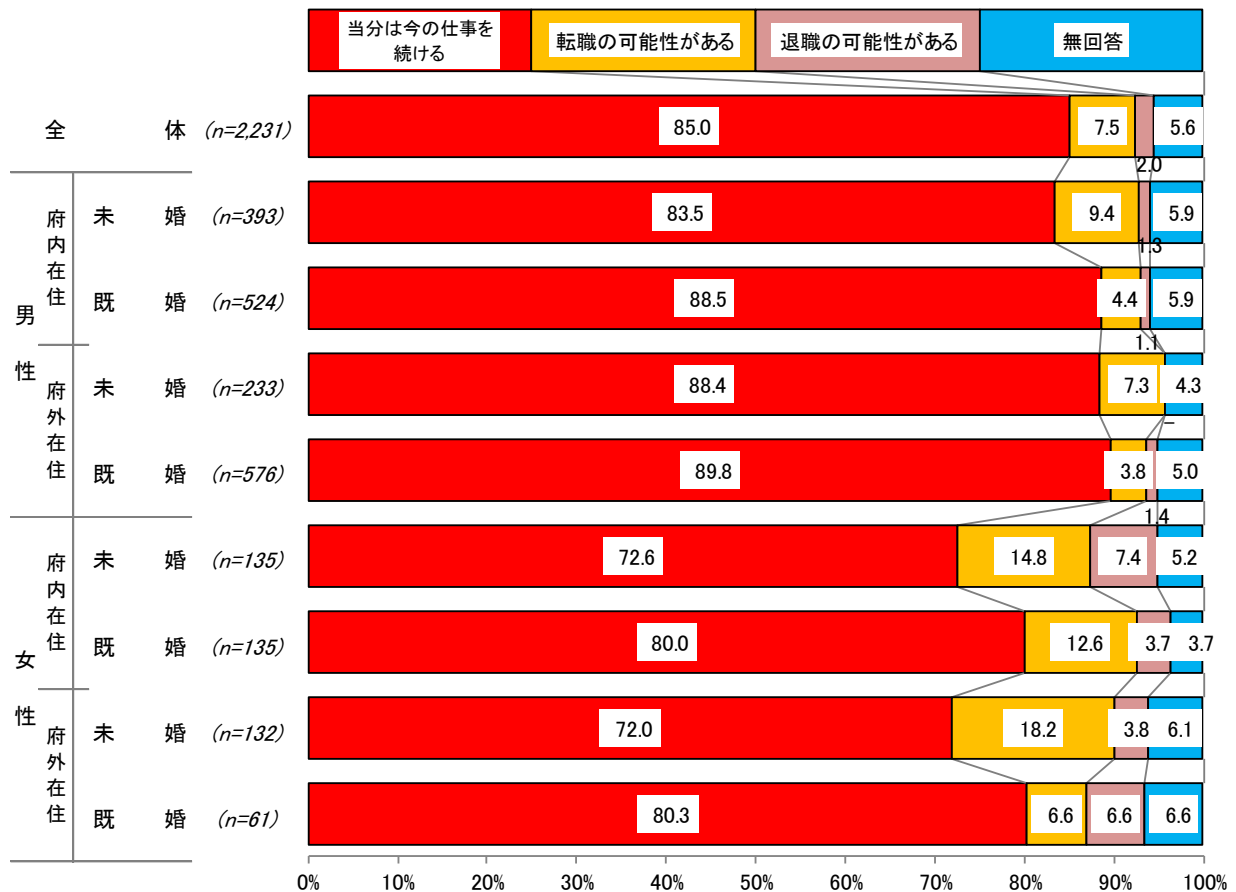
現在の仕事の継続見通しを聞いたところ（図表 2-10-1）、85.0%は「当分は今の仕事を続ける」と回答している。

性・居住地別にみても、男女それぞれについて居住地による大きな差はみられない（図表 2-10-1）。男女別にみると、「当分は今の仕事を続ける」という者は、女性（府内 76.1%、府外 74.6%）より男性（同 86.3%、89.4%）に多くなっている。

性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 2-10-2）、府内在住の男性では「当分は今の仕事を続ける」（未婚 83.5%、既婚 88.5%）という者が未婚者より既婚者にやや多い。府外在住の男性では、婚姻状況による差はみられない。

一方、女性では、居住地にかかわらず「当分は今の仕事を続ける」が、未婚者（府内 72.6%、府外 72.0%）よりも既婚者（同 80.0%、80.3%）に多くあげられている。

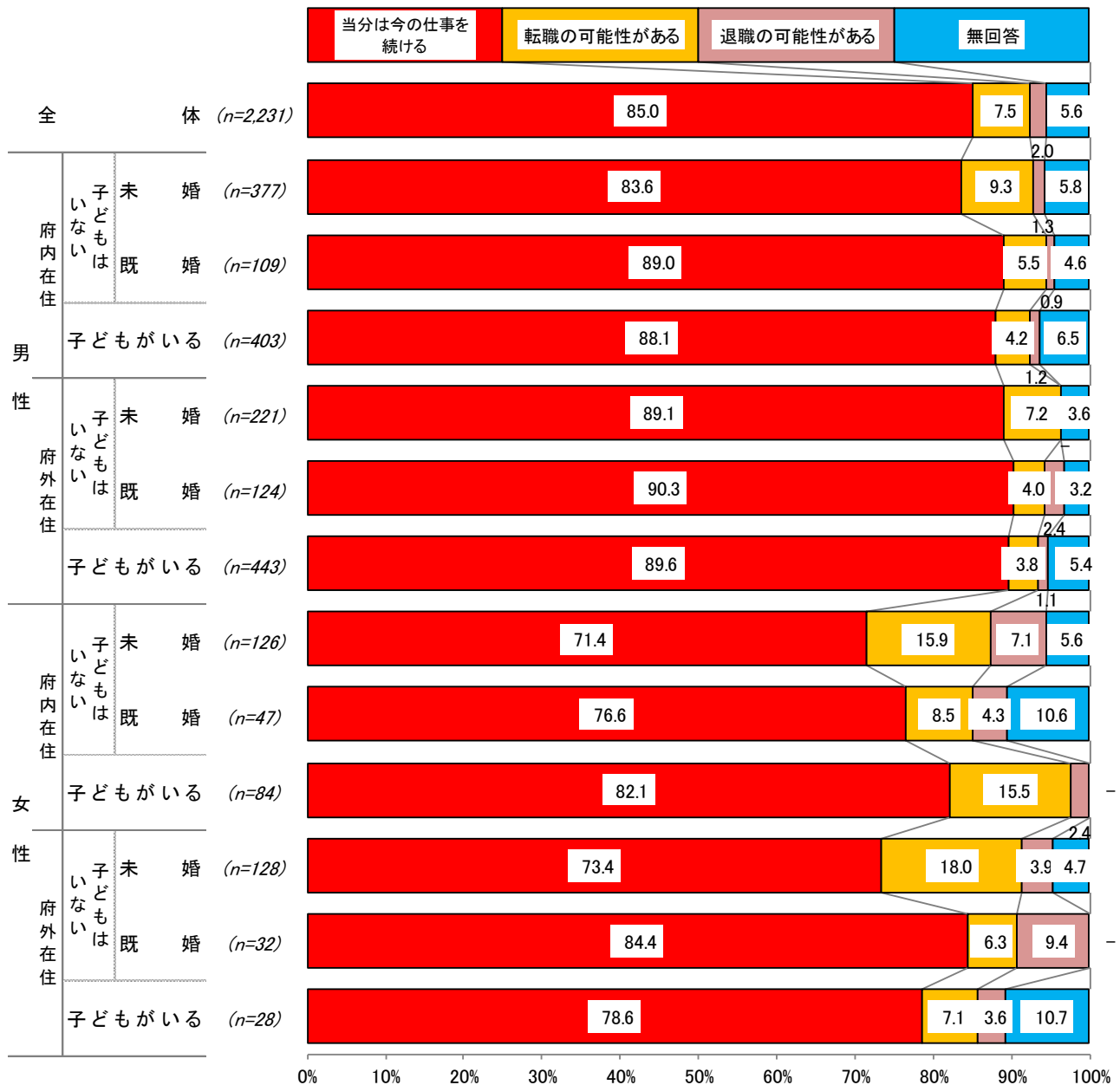
図表 2-10-2 現職の継続見通し（性・居住地・婚姻状況別）



性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 2-10-3）、男性には差はみられない。

女性では、府内在住の子どもがいる者は 82.1%が、「当分は今の仕事を続ける」と回答し、子どもがいない者（未婚 71.4%、既婚 76.6%）より、やや多くなっている。一方、府外在住の子どもがいない未婚者では、「当分は今の仕事を続ける」という者が 73.4%である。

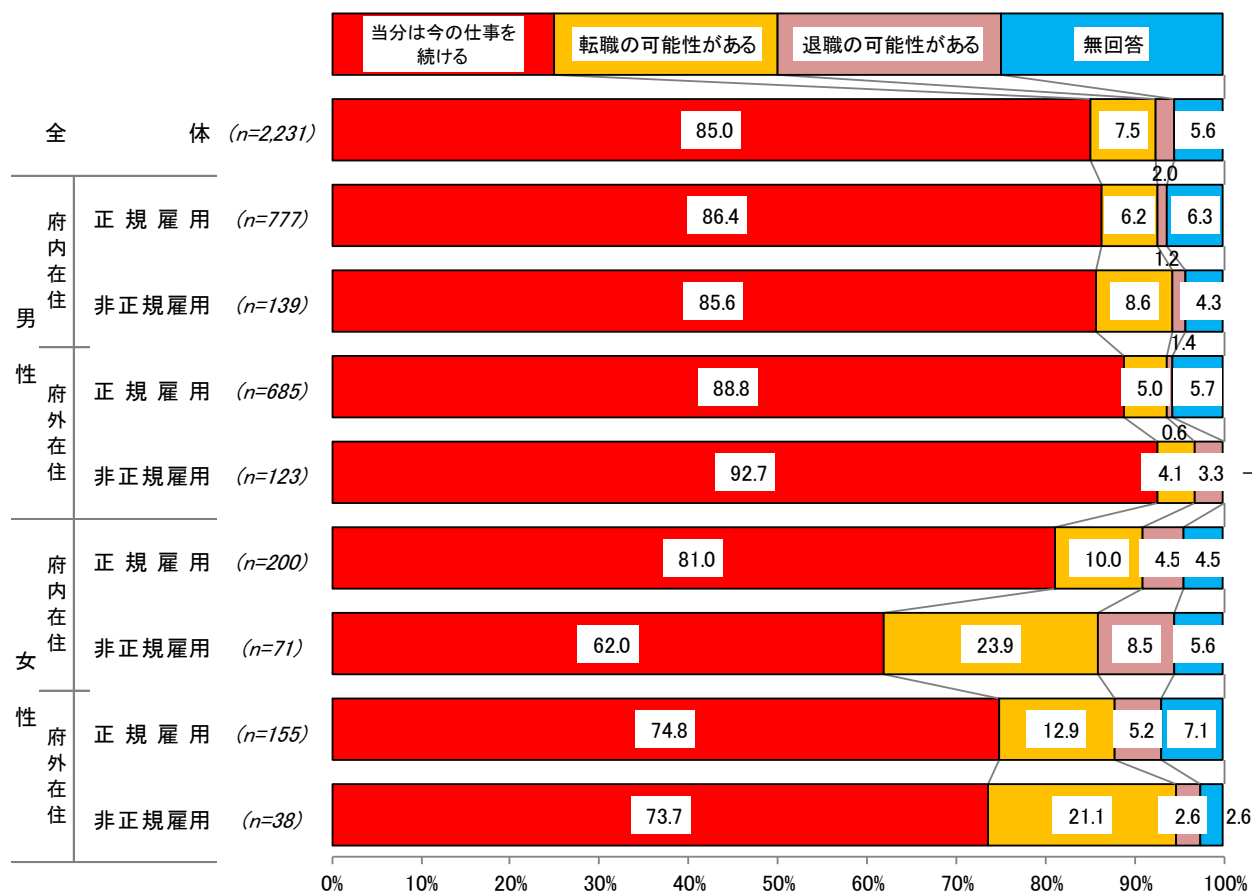
図表 2-10-3 現職の継続見通し（性・居住地・子どもの有無別）



性・居住地・就労状況別にみると（図表 2-10-4）、男性では、居住地と就労状況による大きな差はみられない。一方、府内在住の女性では、「当分は今の仕事を続ける」（正規 81.0%、非正規 62.0%）という者は正規雇用者の 8 割で、非正規雇用者を 19 ポイント上回り、差が大きい。

女性の正規雇用者をみると、「当分は今の仕事を続ける」（府内 81.0%、府外 74.8%）という者は、府外在住者より府内在住者に、多くなっている。

図表 2-10-4 現職の継続見通し（性・居住地・就労状況別）



(11) 転職や退職可能性の理由

【問 2 1 で「2 転職の可能性はある」または「3 退職の可能性はある」と答えた方にお聞きします。】

問 2 2 どのような理由で、転職や退職をする可能性があるといますか。あてはまるものを 1 つ お選びください。

図表 2-11-1

			処賃 遇金、 労働 時間 等の 不満	不仕 満事 の 内 容 に 対 する	職 場 の 事 情	事職 場の 人 間 関 係、 仕 事	結 婚 の た め	雇 用 期 間 の 満 了	育 児 の た め	出 産 の た め	介 護・ 看 護 の た め	健 康 上 の 理 由	進 学・ 通 学 の た め	そ の 他	無 回 答
全 体		(n=211)	25.6	18.0	14.2	10.0	7.6	7.1	2.4	1.4	1.4	1.4	0.9	9.5	0.5
男 性	府 内 在 住	(n=71)	29.6	15.5	25.4	8.5	-	1.4	1.4	-	-	2.8	1.4	12.7	1.4
	府 外 在 住	(n=47)	27.7	31.9	17.0	4.3	-	6.4	2.1	-	2.1	-	-	8.5	-
女 性	府 内 在 住	(n=52)	19.2	9.6	3.8	13.5	17.3	17.3	1.9	3.8	1.9	-	1.9	9.6	-
	府 外 在 住	(n=37)	27.0	16.2	5.4	16.2	16.2	2.7	5.4	2.7	2.7	-	-	5.4	-

現在の仕事を、今後、転職もしくは退職する可能性がある人（211 人）の転職・退職理由としては（図表 2-11-1）、「賃金、労働時間等の処遇への不満」が 25.6%で最も多くあげられ、以下「仕事の内容に対する不満」（18.0%）、「職場の事情」（14.2%）などの順となっている。

府内在住者について男女別にみると（図表 2-11-1）、「賃金、労働時間等の処遇への不満」（男性 29.6%、女性 19.2%）と「職場の事情」（同 25.4%、3.8%）は女性より男性に多くあげられ、「雇用期間の満了」（同 1.4%、17.3%）、「結婚のため」（同 -%、17.3%）は男性より女性に多くあげられている。

(12) 現在の職場の育児支援制度の利用状況

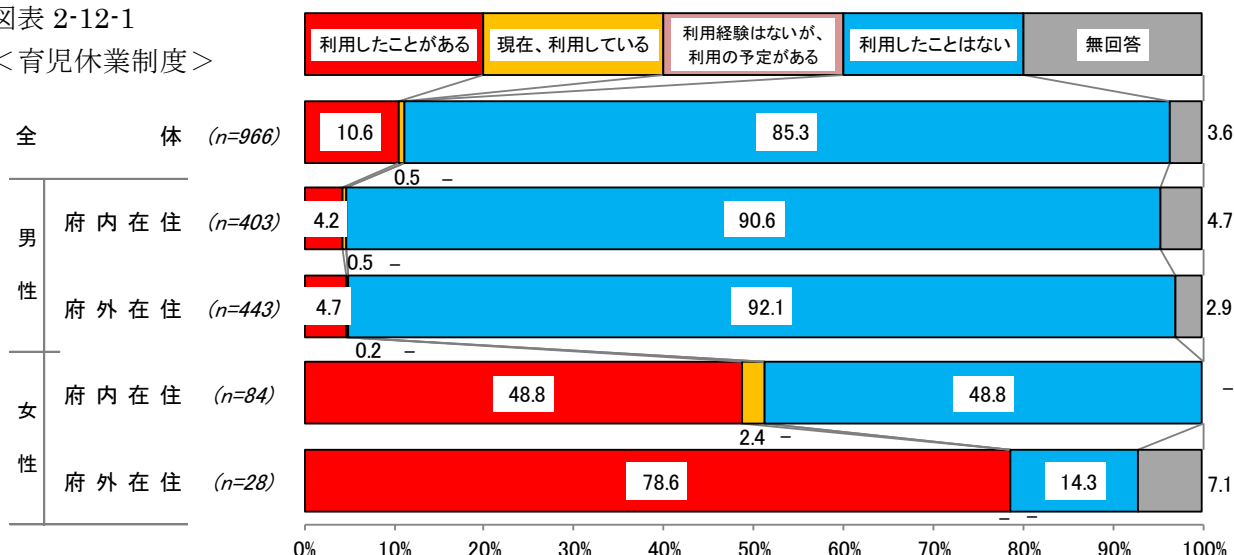
【現在仕事をしている方（問15で「1」～「9」と答えた方）にお聞きます。】

問23（1）あなた自身は、現在働いている職場で、「a）育児休業制度」と「b）育児のための短時間勤務制度」を利用したことがありますか。それぞれの制度について、あてはまるものを1つずつお選びください。

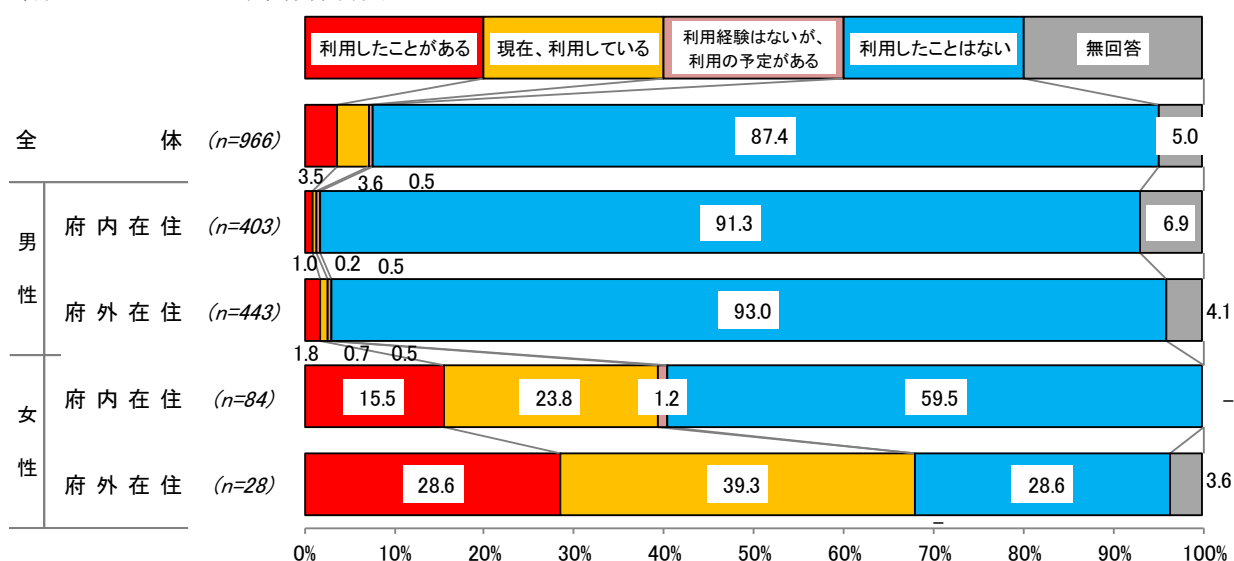
（2）あなたが現在働いている職場では、一般的に、「a）育児休業制度」と「b）育児のための短時間勤務制度」の利用者に対して、どのような雰囲気ですか。最もあてはまるものを1つずつお答えください。

図表 2-12-1

<育児休業制度>



<育児のための短時間勤務制度>



子どもがいる者のうち問15で就労状況を回答した者（966人）に、自身の“育児休業制度”と“育児のための短時間勤務制度”の利用経験を聞いた（図表 2-12-1）。

“育児休業制度”を、「利用したことがある」者は10.6%、「現在、利用している」者は0.5%で、利用経験があるのは、約1割である（図表 2-12-1・上）。

性・居住地別にみると（図表 2-12-1・上）、居住地による大きな差はみられない。

府内在住者を男女別にみると、女性では「利用したことがある」という者は48.8%、「現在、利用している」者は1.2%で過半数に利用経験がある。一方、男性で「利用したことがある」者は、4.2%にとどまっている。

“育児のための短時間勤務制度”を「利用したことがある」者は3.5%、「現在、利用している」者も3.6%で、利用経験者は7.1%である（図表2-12-1・下）。

性・居住地別にみると（図表2-12-1・下）、居住地による大きな差はみられない。

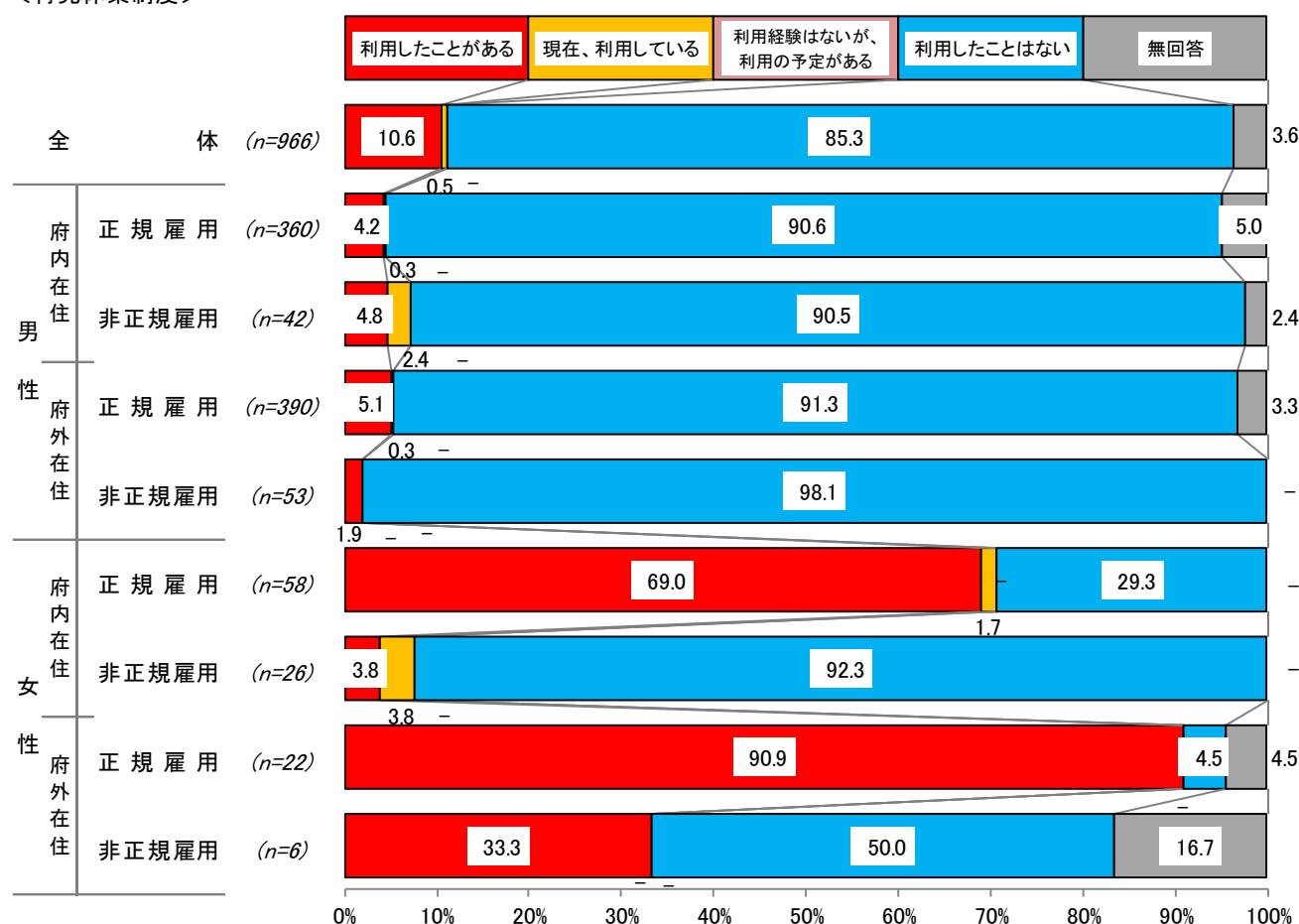
府内在住者を男女別にみると、女性は「利用したことがある」者が15.5%、「現在、利用している」者は府内23.8%で、利用経験者は約4割となっている。

男性は、“育児休業制度”と同様に、9割以上は「利用したことはない」（91.3%）と回答している。

“育児休業制度”について性・居住地・就労状況別にみると（図表2-12-2）、男性では大きな差はみられない。一方、女性では、府内在住の利用経験者は、正規雇用者で70.7%、非正規雇用者で7.6%となっている。

図表2-12-2 現在の職場の育児支援制度の利用状況（性・居住地・就労状況別）

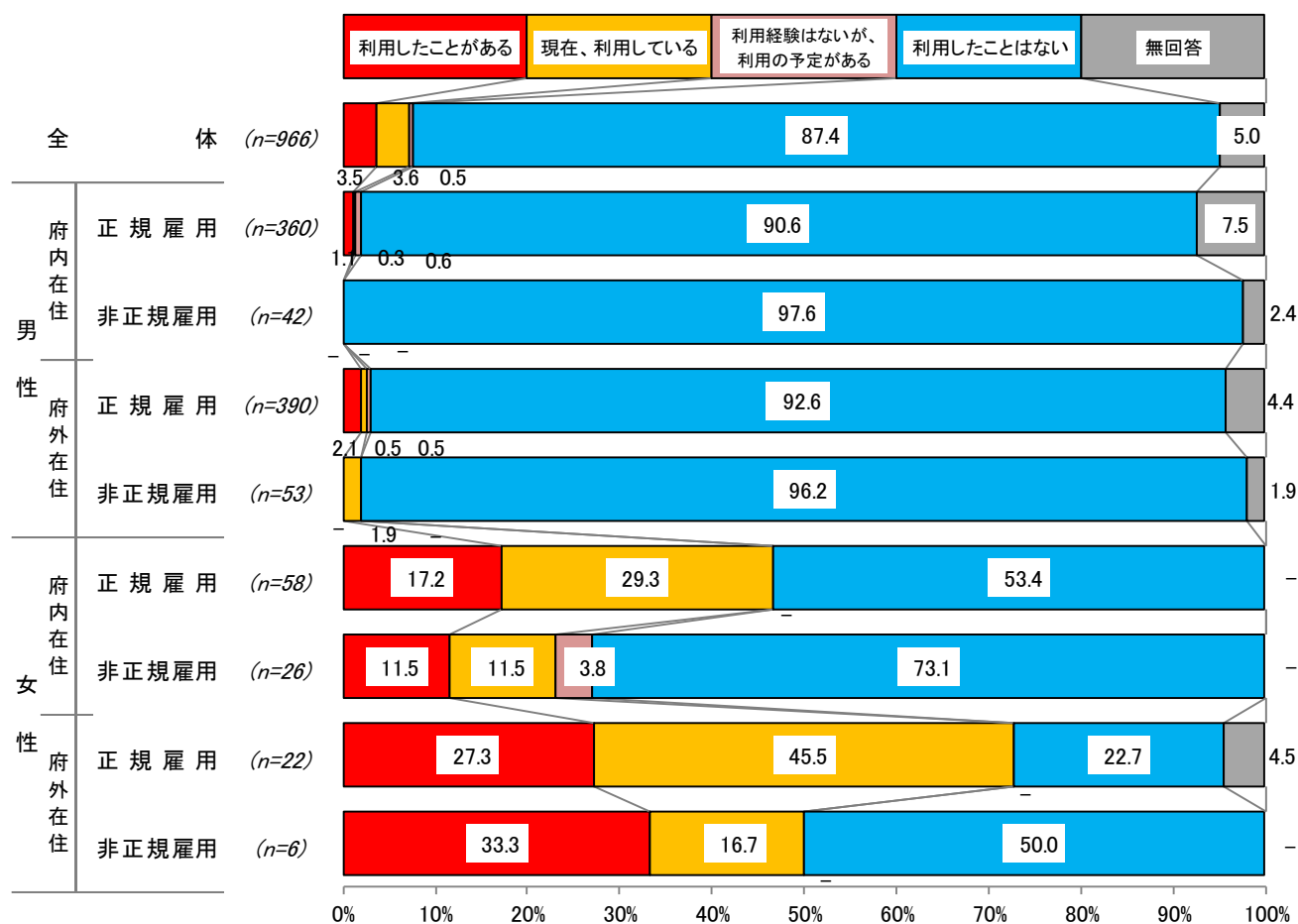
<育児休業制度>



“育児のための短時間勤務制度”の利用経験者は、府内在住の正規雇用の女性で46.5%、非正規雇用者で23.0%である（図表 2-12-3）。

図表 2-12-3 現在の職場の育児支援制度の利用状況（性・居住地・就労状況別）

<育児のための短時間勤務制度>

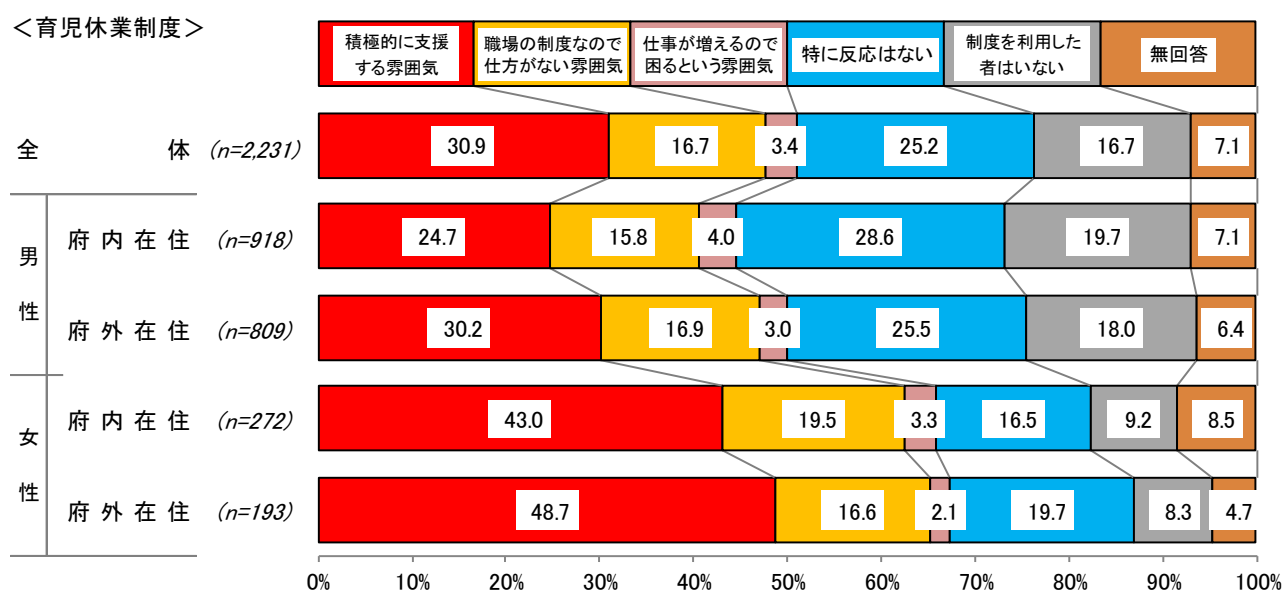


さらに、“育児休業制度”と“育児のための短時間勤務制度”の利用者に対する職場の雰囲気について聞いた（図表 2-12-4）。

“育児休業制度”については（図表 2-12-4）、「積極的に支援する雰囲気」が 30.9%で、積極的ではないものの「職場の制度なので仕方ないという雰囲気」（16.7%）を合わせると、5 割近くは制度利用を容認する雰囲気がある。

性・居住地別にみると（図表 2-12-4）、「積極的に支援する雰囲気」という者は、男性（府内 24.7%、府外 30.2%）より女性（同 43.0%、48.7%）に多く、特に府外在住の女性では約半数となっている。

図表 2-12-4 育児支援制度利用者に対する職場の雰囲気（性・居住地別）

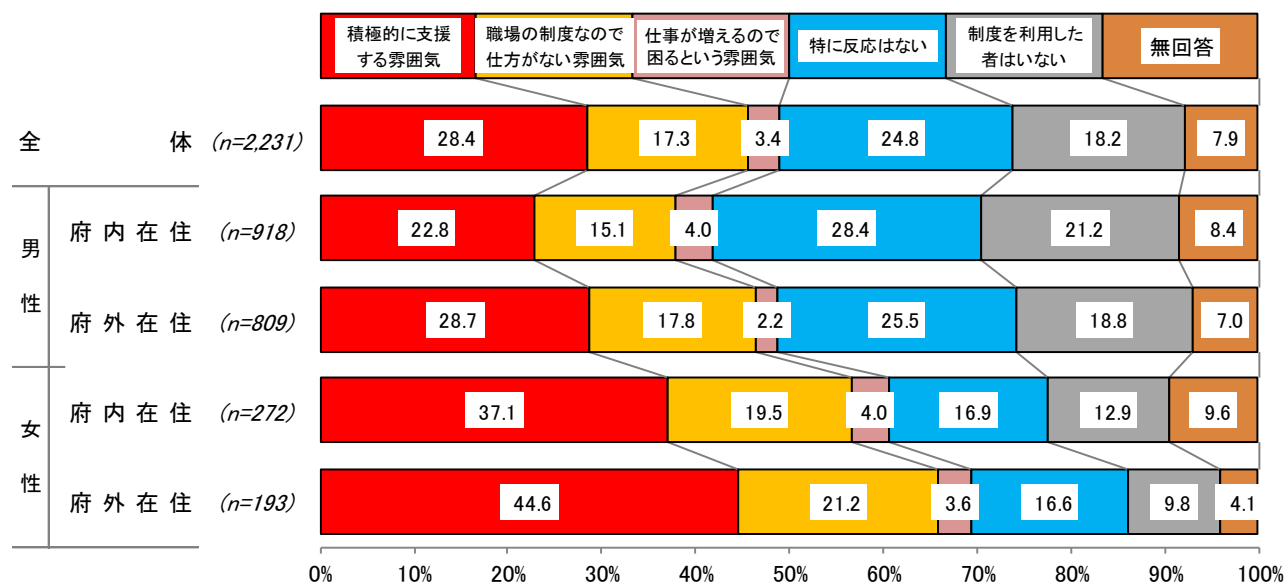


一方、“育児のための短時間勤務制度”利用者を「積極的に支援する雰囲気」があるのは28.4%で、「職場の制度なので仕方ないという雰囲気」(17.3%)を合わせた制度利用を容認する雰囲気には、“育児休業制度”との差はみられない(図表 2-12-5)。

性・居住地別にみると(図表 2-12-5)、「積極的に支援する雰囲気」という者は、男女とも府内在住者(男性22.8%、女性37.1%)より府外在住者(同28.7%、44.6%)に多く、特に女性では府外在住者が府内在住者を8ポイント上回り、“育児休業制度”より居住地による差が大きくなっている。

図表 2-12-5 育児支援制度利用者に対する職場の雰囲気(性・居住地別)

<育児のための短時間勤務制度>



「制度を利用した者はいない」という回答を除き、制度利用者のいる職場に限定して再集計した（図表 2-12-6）。

“育児休業制度”利用者のいる職場（1,700 人）のうち利用者に対して、「積極的に支援する雰囲気」という職場は 40.5%で、積極的ではないものの「職場の制度なので仕方がないという雰囲気」（21.9%）を合わせると、6 割以上は制度利用を容認する雰囲気がある（図表 2-12-6・上）。

性・居住地別にみると（図表 2-12-6・上）、「積極的に支援する雰囲気」という者は、男性（府内 33.8%、府外 39.9%）より女性（同 52.2%、56.0%）に、府内在住者より府外在住者に多い。「職場の制度なので仕方がないという雰囲気」という回答は、いずれの層でも 2 割前後となっている。

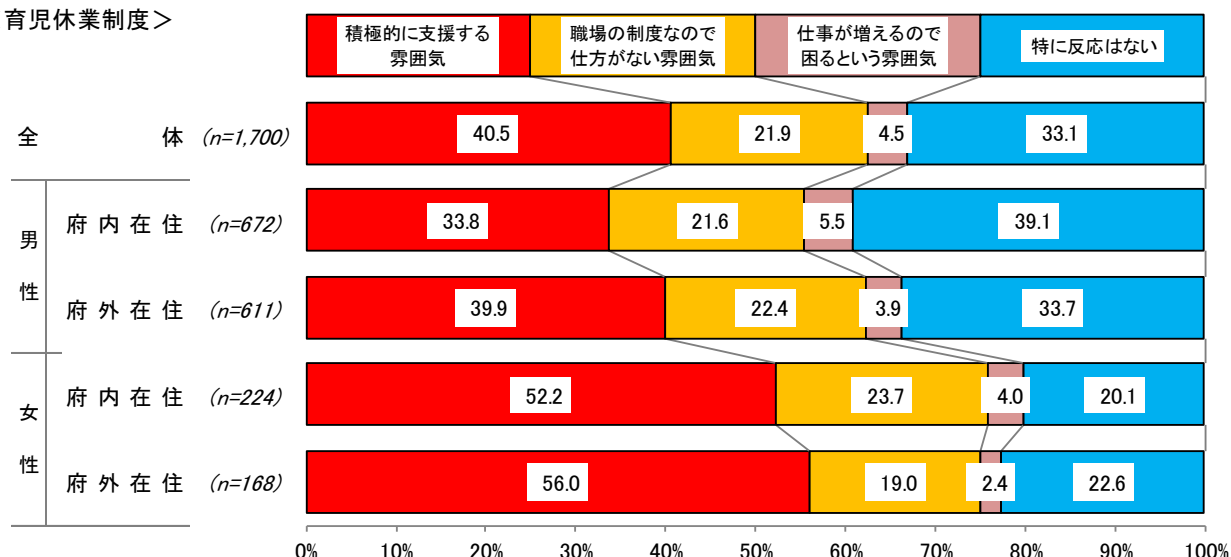
一方、“育児のための短時間勤務制度”利用者を「積極的に支援する雰囲気」があるのは 38.5%で、「職場の制度なので仕方がないという雰囲気」（23.4%）を合わせた制度利用を容認する雰囲気は、“育児休業制度”利用者に対する雰囲気と同様である（図表 2-12-4・下）。

性・居住地別にみると（図表 2-12-6・下），“育児休業制度”と同様に、「積極的に支援する雰囲気」という者は、男性（府内 32.4%、府外 38.7%）より女性（同 47.9%、51.8%）に、府内在住者より府外在住者に多い。

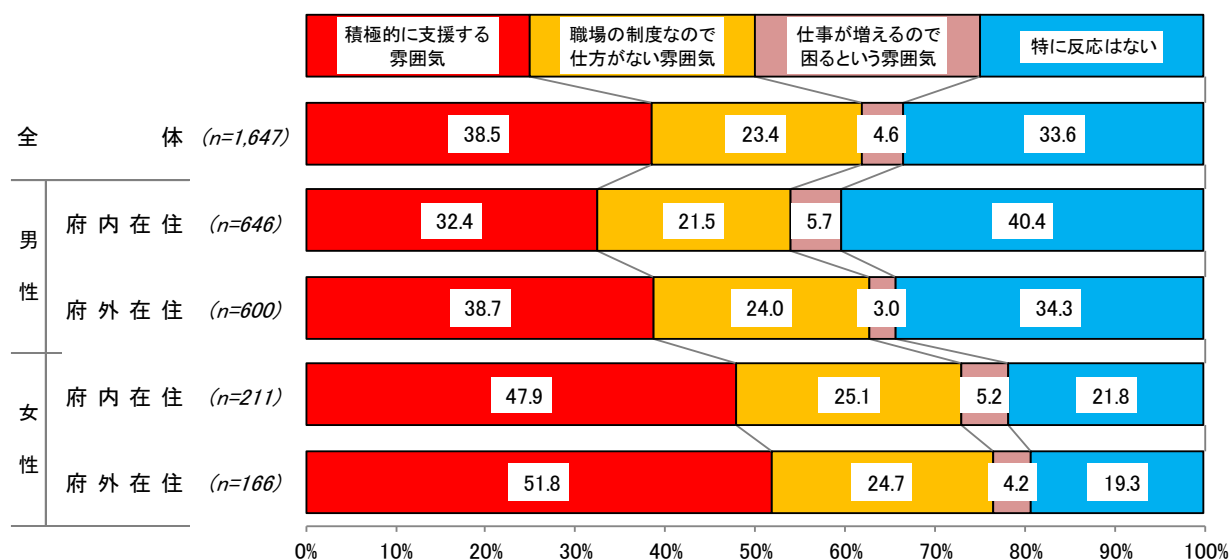
2 つの支援制度について「仕事が増えるので困るという雰囲気」という否定的なとらえ方は、5%前後で、居住地や男女差はみられない。

図表 2-12-6 育児支援制度利用者に対する職場の雰囲気／利用者のいる職場（性・居住地別）

＜育児休業制度＞



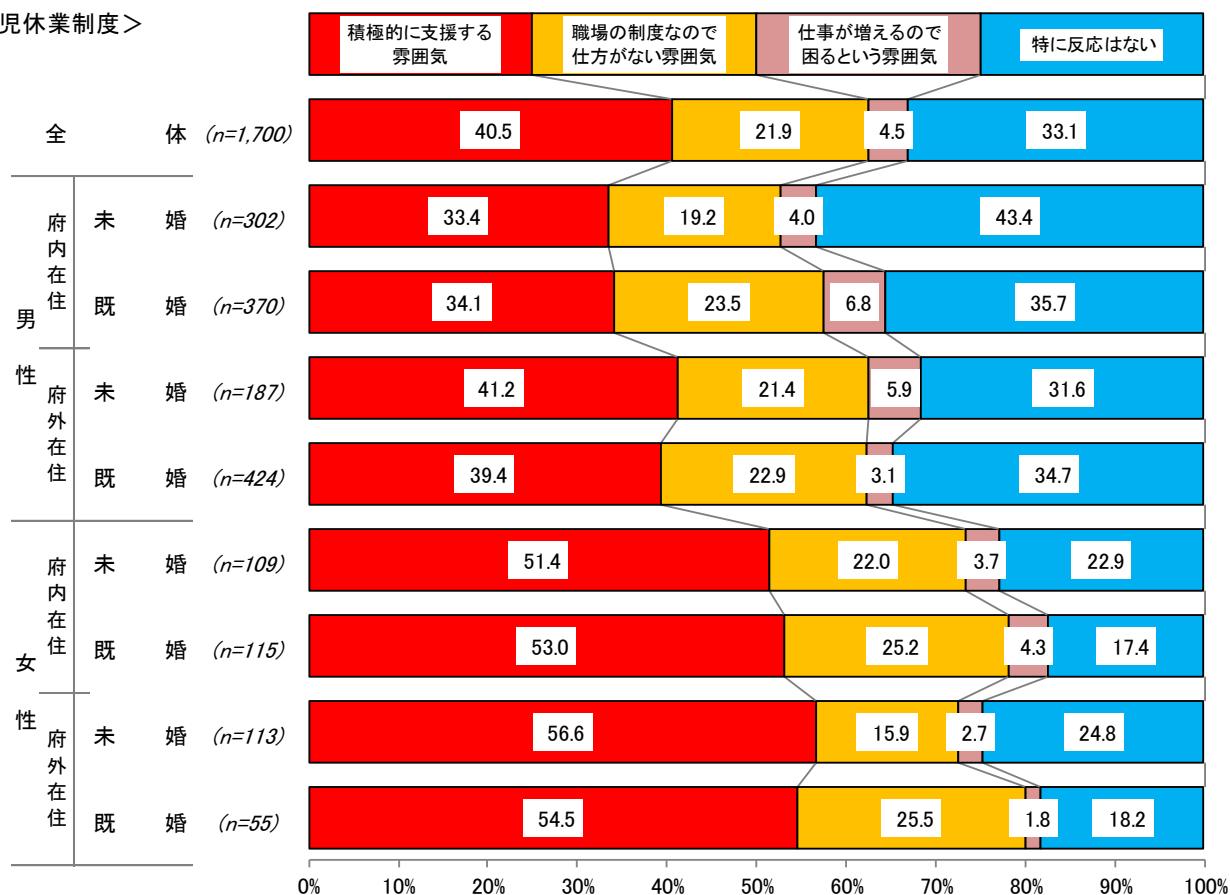
＜育児のための短時間勤務制度＞



“育児休業制度”の利用者に対する職場の雰囲気を性・居住地・婚姻状況別（図表 2-12-7・上）にみると、男女とも婚姻状況による大きな差はみられない。

図表 2-12-7 育児支援制度利用者に対する職場の雰囲気／利用者のいる職場
(性・居住地・婚姻状況別)

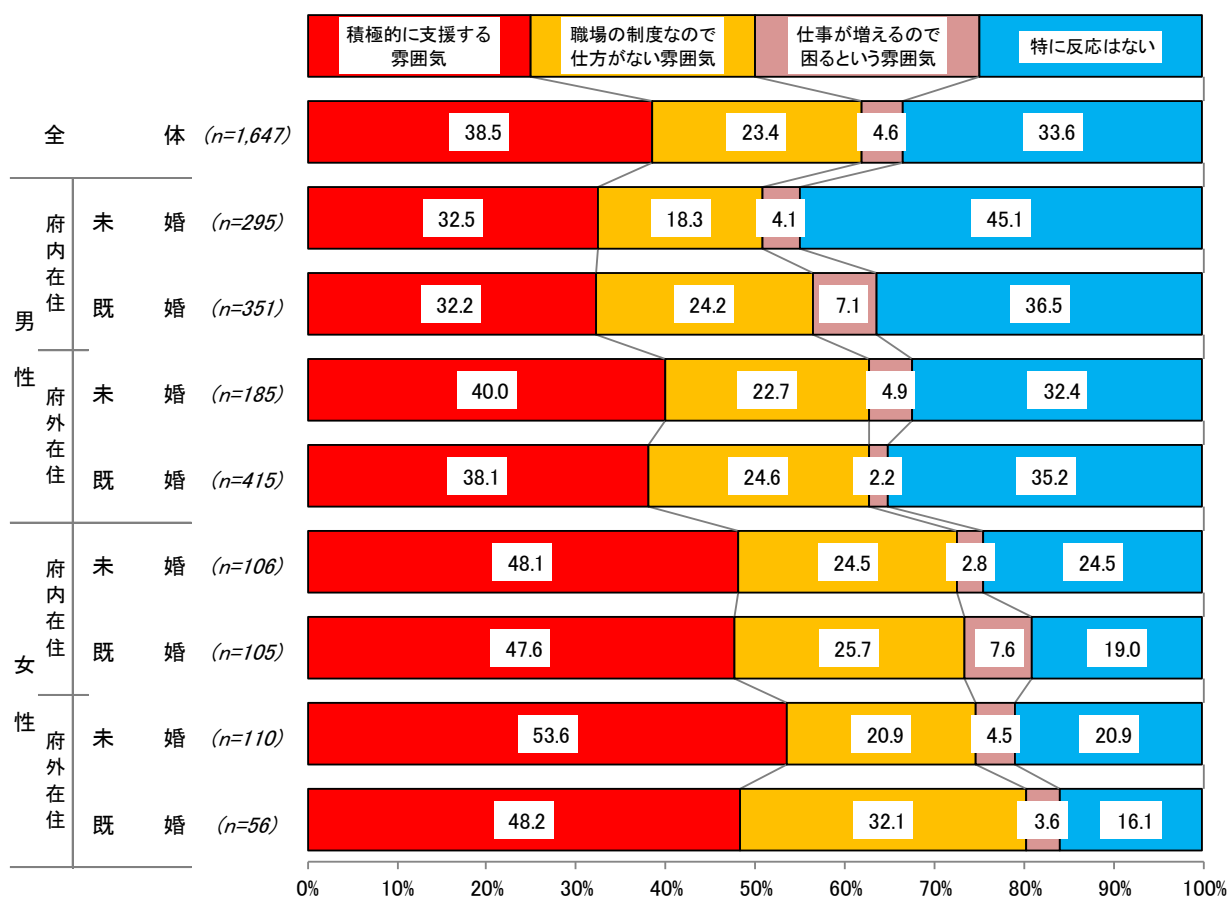
<育児休業制度>



“育児のための短時間勤務制度”の利用者に対する職場の雰囲気を経験者・居住地・婚姻状況別にみると（図表 2-12-8）、府外在住の未婚女性で「積極的に支援する雰囲気」（53.6％）という者が過半数を占めている。

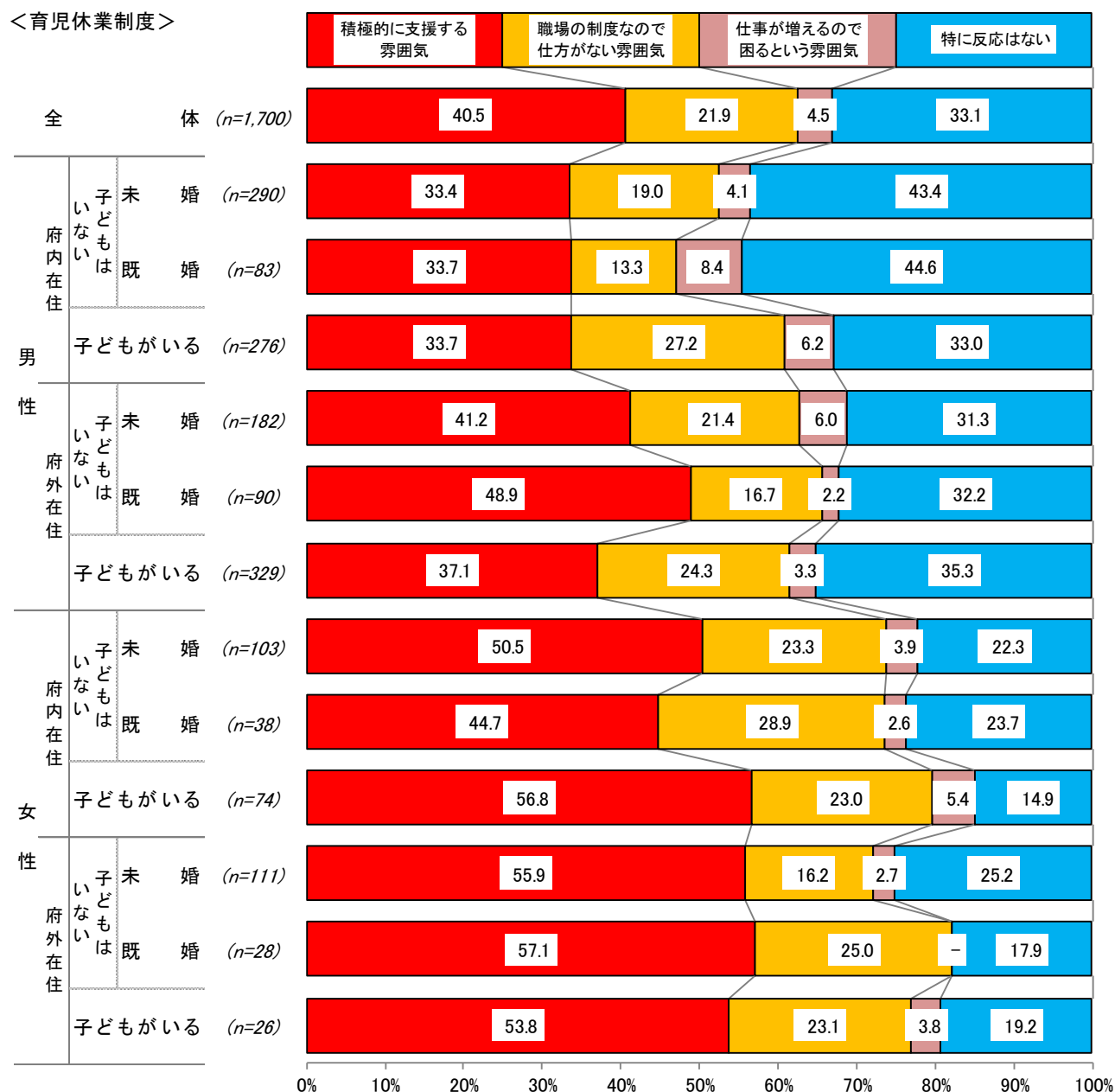
図表 2-12-8 育児支援制度利用者に対する職場の雰囲気／利用者のいる職場
(性・居住地・婚姻状況別)

<育児のための短時間勤務制度>



“育児休業制度”の利用者に対する職場の雰囲気を性・居住地・子どもの有無別にみると（図表2-12-9）、男性では、府外在住の子どものいない既婚者の半数近くが「積極的に支援する雰囲気」（48.9%）と回答している。一方、女性では、府内在住者の子どものいる者に「積極的に支援する雰囲気」（56.8%）という者が6割近くと、多くなっている。

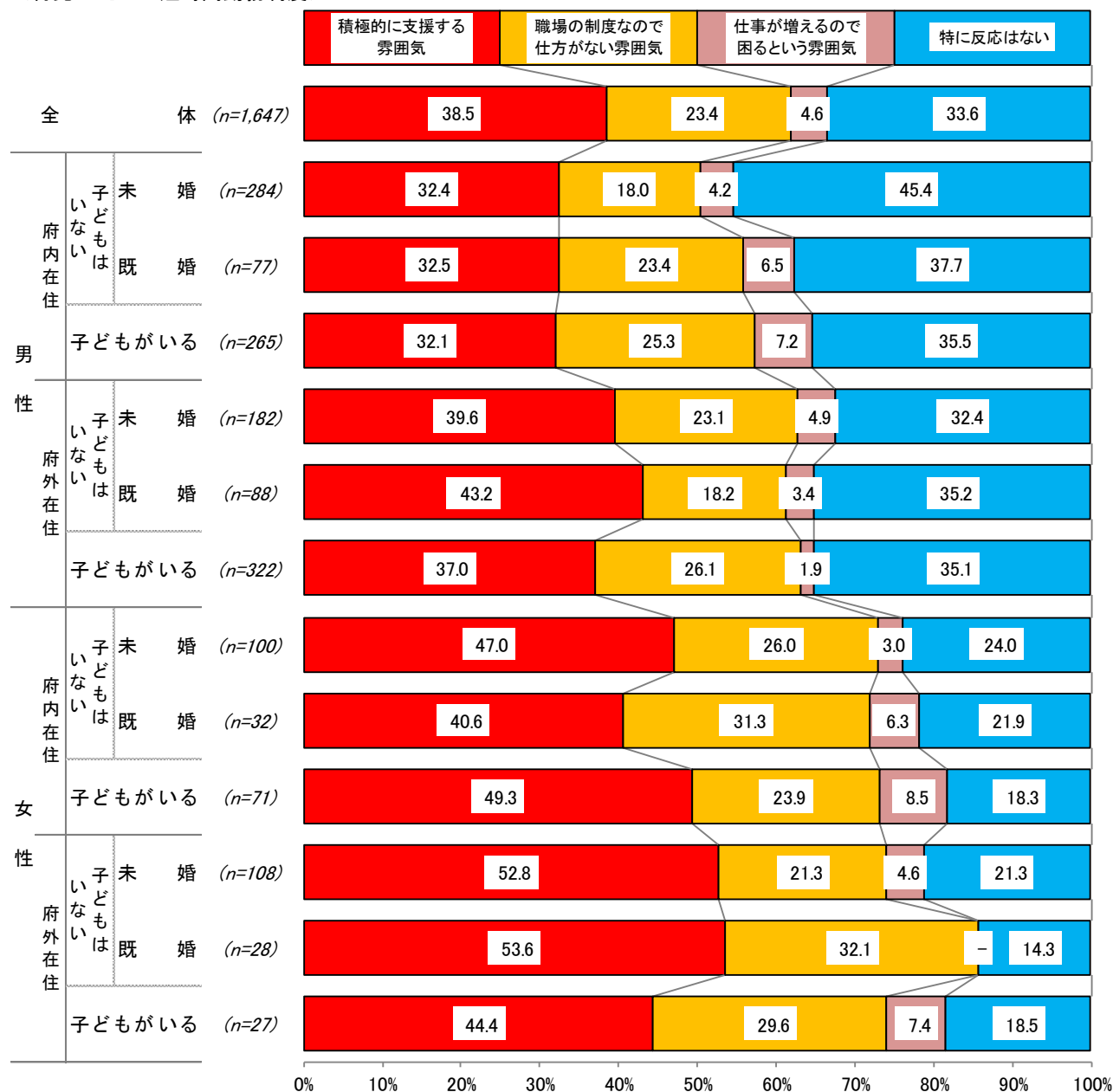
図表 2-12-6 育児支援制度利用者に対する職場の雰囲気／利用者のいる職場
(性・居住地・子どもの有無別)



“育児のための短時間勤務制度”については（図表 2-12-10）、男性では、府外在住の子どものない既婚者に「積極的に支援する雰囲気」（43.2％）という者が４割台と、やや多くなっている。一方、「仕事が増えるので困るという雰囲気」という者は、府内在住者の子どもがいる男性（7.2％）と子どものない既婚男性（6.5％）、子どもがいる女性（8.5％）で１割弱とやや多い。

図表 2-12-10 育児支援制度利用者に対する職場の雰囲気／利用者のいる職場
(性・居住地・子どもの有無別)

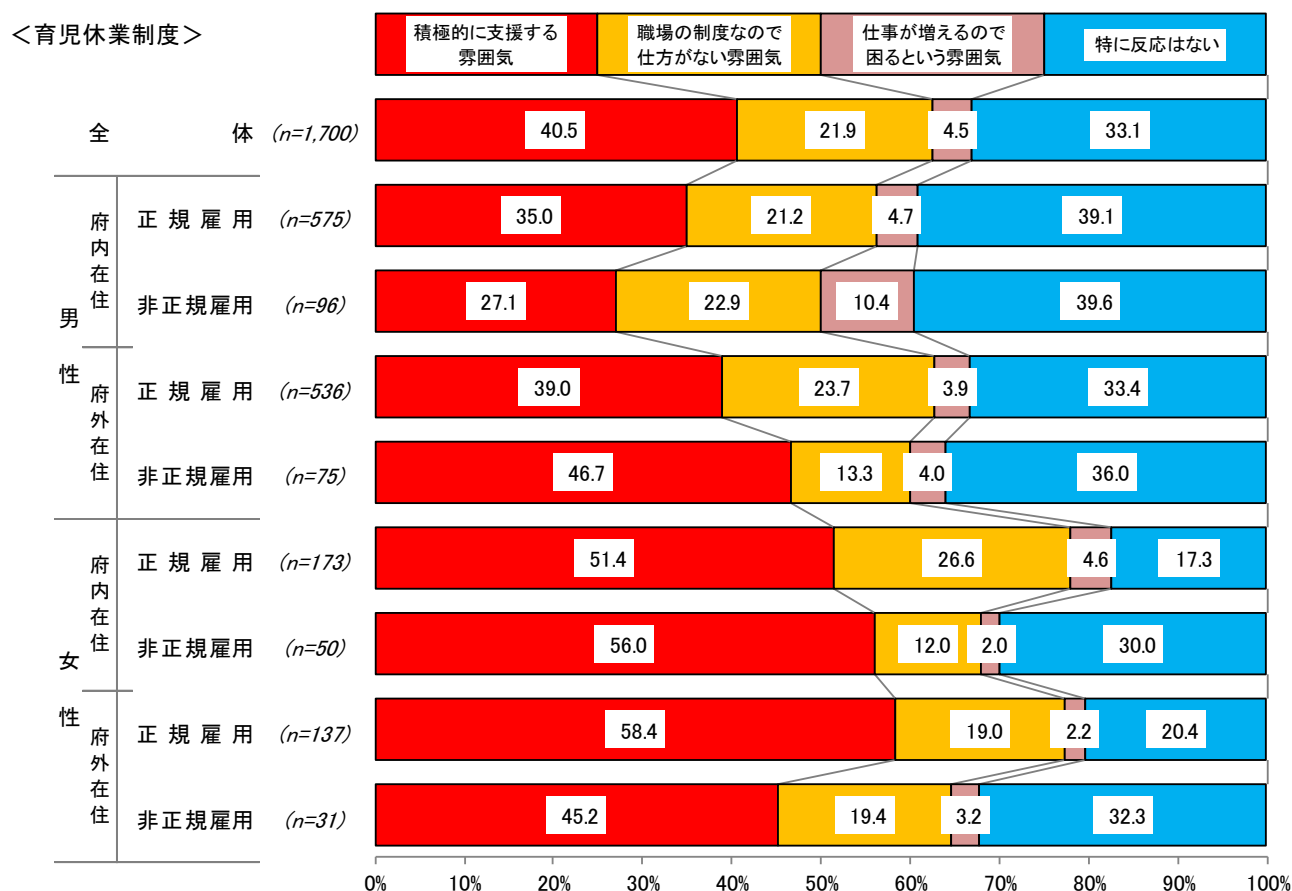
<育児のための短時間勤務制度>



“育児休業制度”の利用者に対する職場の雰囲気について性・居住地・就労状況別にみると（図表2-12-11）、男性で「積極的に支援する雰囲気」という好意的なとらえ方をしている者は、正規雇用者（府内35.0%、府外39.0%）の3割台で居住地による差はみられないが、非正規雇用者（同27.1%、46.7%）では府外在住者の5割近くで、正規雇用者を20ポイント上回っている。

一方、女性では、府内在住の正規雇用者では「職場の制度なので仕方がないという雰囲気」（26.6%）という者が他の層より多い。これに対して、府外在住の正規雇用者で、「職場の制度なので仕方がないという雰囲気」（19.0%）という者は2割程度で、6割近くが「積極的に支援する雰囲気」（58.4%）と回答しており、居住地による差がややみられる。

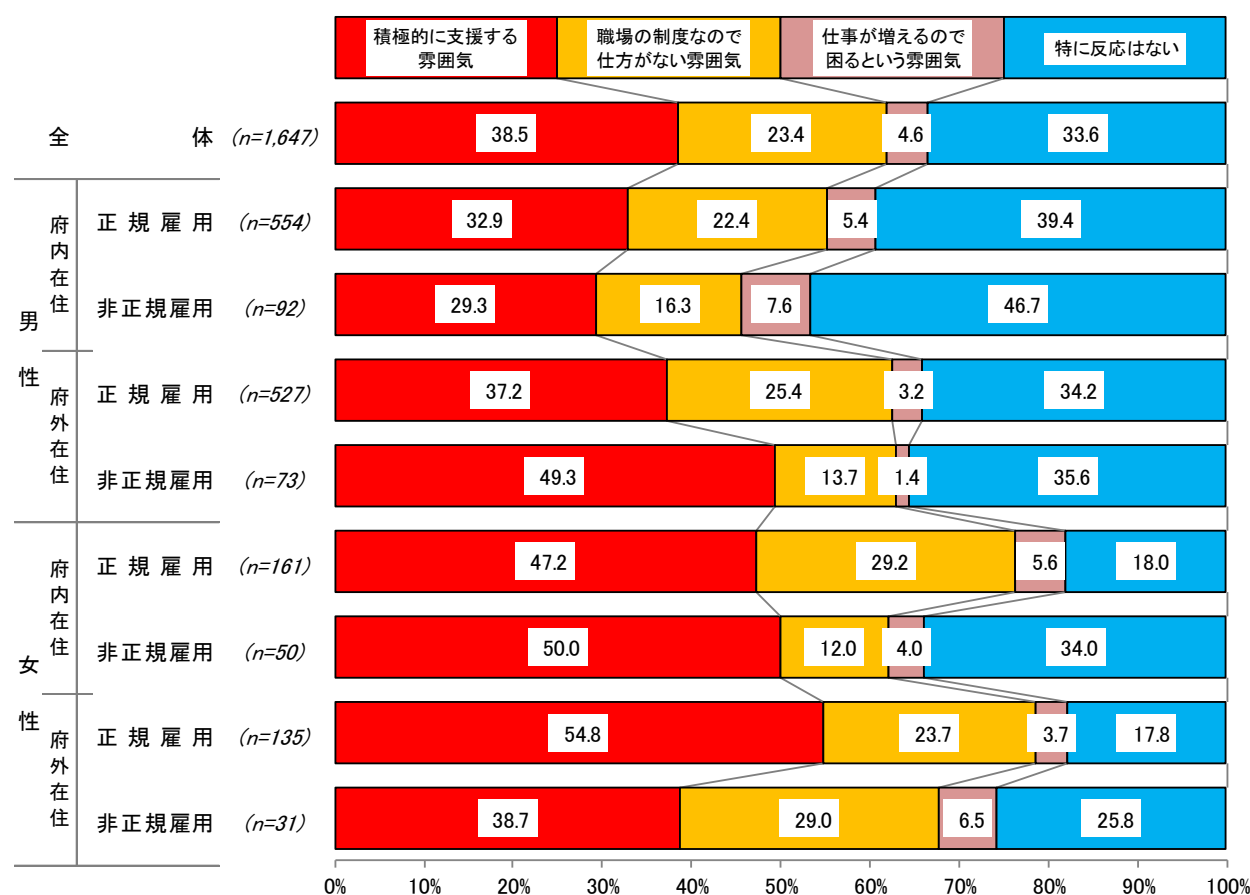
図表 2-12-11 育児支援制度利用者に対する職場の雰囲気／利用者のいる職場
(性・居住地・就労状況別)



“育児のための短時間勤務制度”については（図表 2-12-12）、府外在住の男性では、「積極的に支援する雰囲気」（正規 37.2%、非正規 49.3%）は正規雇用者よりも非正規雇用者に、「職場の制度なので仕方がないという雰囲気」（同 25.4%、13.7%）は非正規雇用者よりも正規雇用者に、それぞれ多くなっている。一方、女性では、府内在住の正規雇用者で、「職場の制度なので仕方がないという雰囲気」（29.2%）という者が 3 割近い。

図表 2-12-7・つづき 育児支援制度利用者に対する職場の雰囲気／利用者のいる職場
（性・居住地・就労状況別）

<育児のための短時間勤務制度>

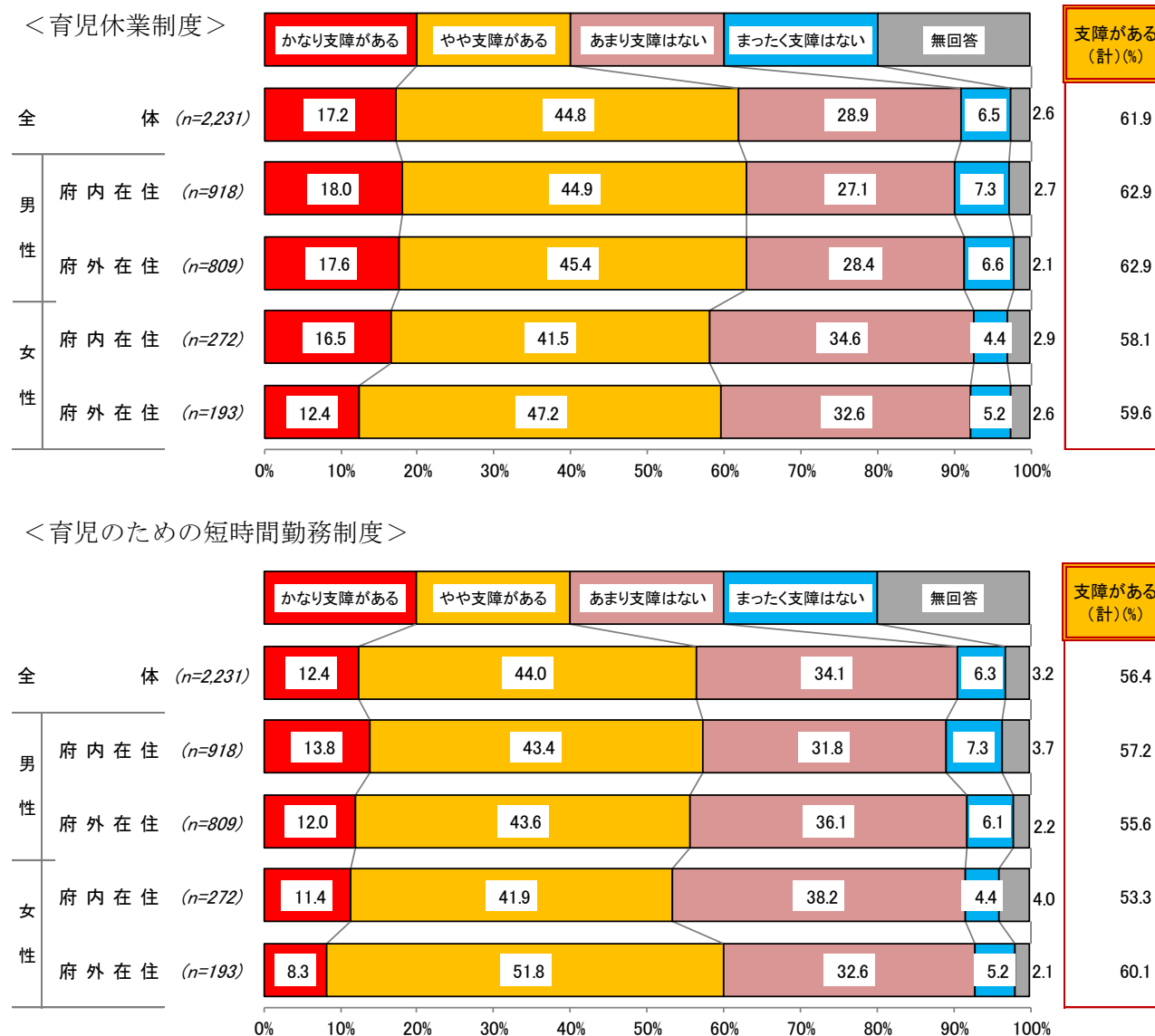


(13) 育児支援制度利用による業務への支障

【現在仕事をしている方（問15で「1」～「9」と答えた方）にお聞きます。】

問24 あなたの職場で、従業員が「a）育児休業制度」と「b）育児のための短時間勤務制度」を利用する場合、業務に支障があると思いますか。それぞれについて、あてはまるものを1つずつお選びください。

図表 2-13-1



職場で“育児休業制度”と“育児のための短時間勤務制度”を利用する場合の、業務への支障の有無を聞いた（図表 2-13-1）。

“育児休業制度”の利用は（図表 2-13-1・上）、「かなり支障がある」という者が 17.2%、「やや支障がある」が 44.8%で、就労者の 6 割以上は『支障がある』（61.9%）と回答している。

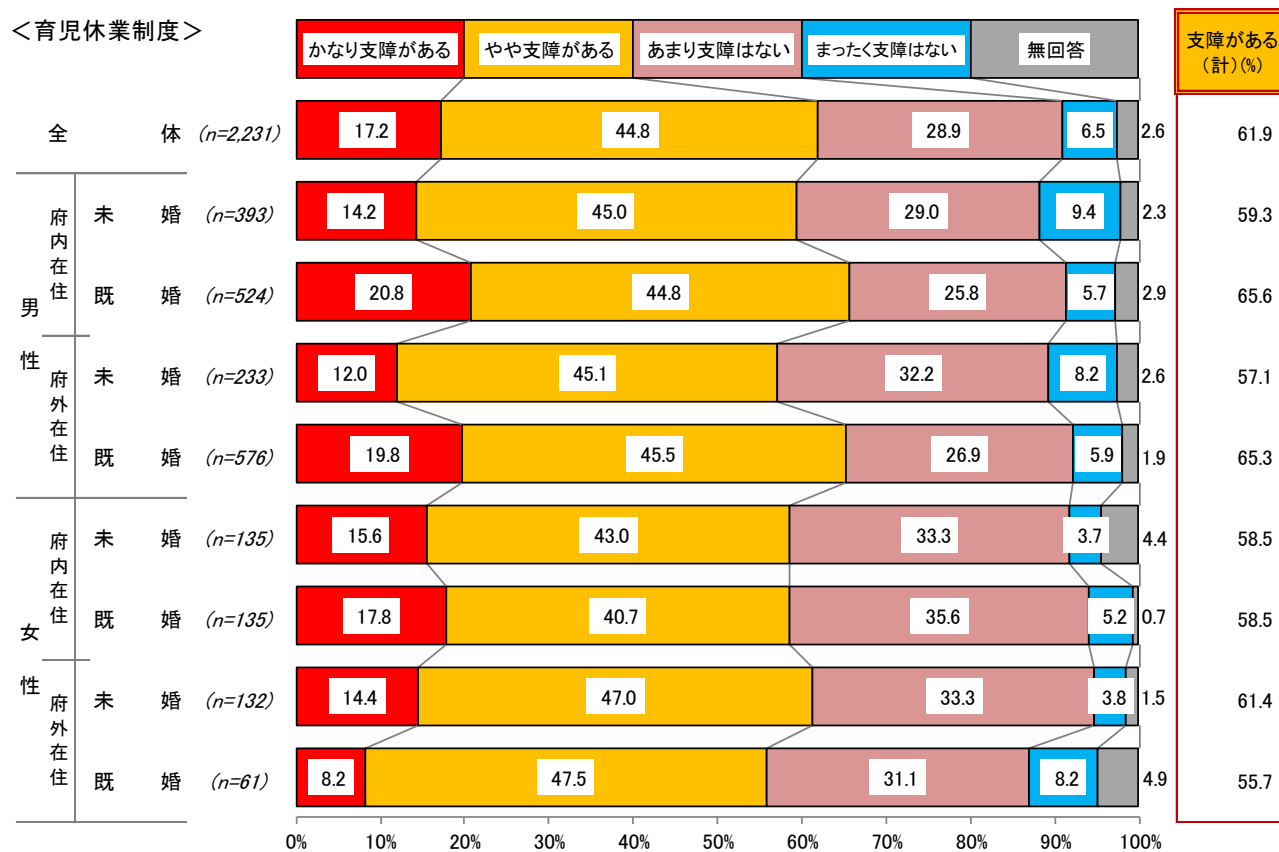
一方、“育児のための短時間勤務制度”の利用についても、「かなり支障がある」が 12.4%、「やや支障がある」が 44.0%で、5 割以上は『支障がある』（56.4%）と回答している。

“育児休業制度”の利用について性・居住地別にみても、大きな差はみられない。

“育児のための短時間勤務制度”の利用については（図表 2-13-1・下）、府外在住の女性で「やや支障がある」（51.8%）という者が半数を上回り、6 割は『支障がある』（60.1%）と回答している。

“育児休業制度”の利用について性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 2-13-2）、男性では、居住地にかかわらず「かなり支障がある」という者が、未婚者（府内 14.2%、府外 12.0%）よりも既婚者（同 20.8%、19.8%）に多い。女性では府外在住者で、『支障がある』（未婚 61.4%、既婚 55.7%）という者が未婚者にやや多くなっている。

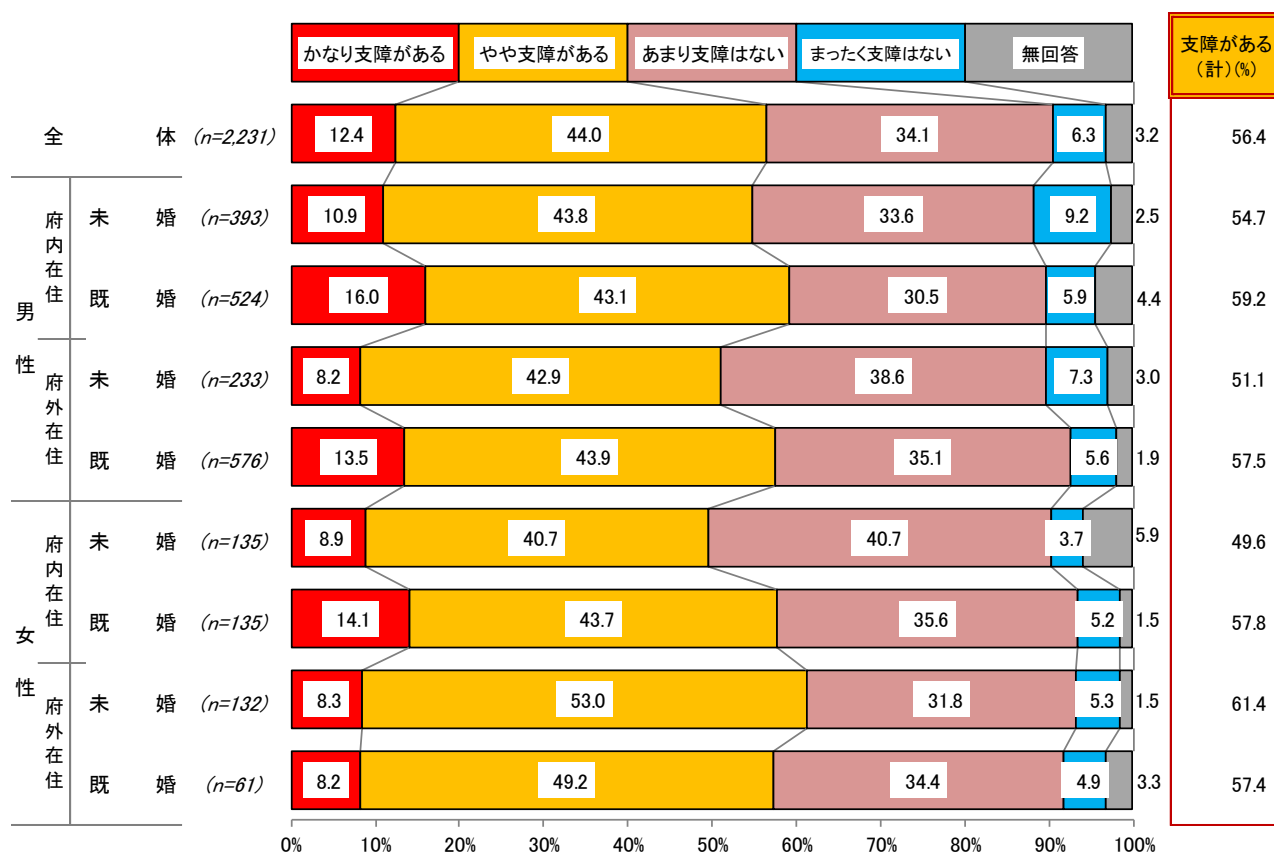
図表 2-13-2 育児支援制度利用による業務への支障（性・居住地・婚姻状況別）



“育児のための短時間勤務制度”の利用についても（図表 2-13-3）、同様の傾向で、男性では、居住地にかかわらず「かなり支障がある」という者が未婚者（府内 10.9%、府外 8.2%）よりも既婚者（同 16.0%、13.5%）に多い。一方、女性では、府内在住の既婚者で「かなり支障がある」（14.1%）という者が未婚者（8.9%）を上回っている。府外在住の女性では、婚姻状況による大きな差はみられない。

図表 2-13-3 育児支援制度利用による業務への支障（性・居住地・婚姻状況別）

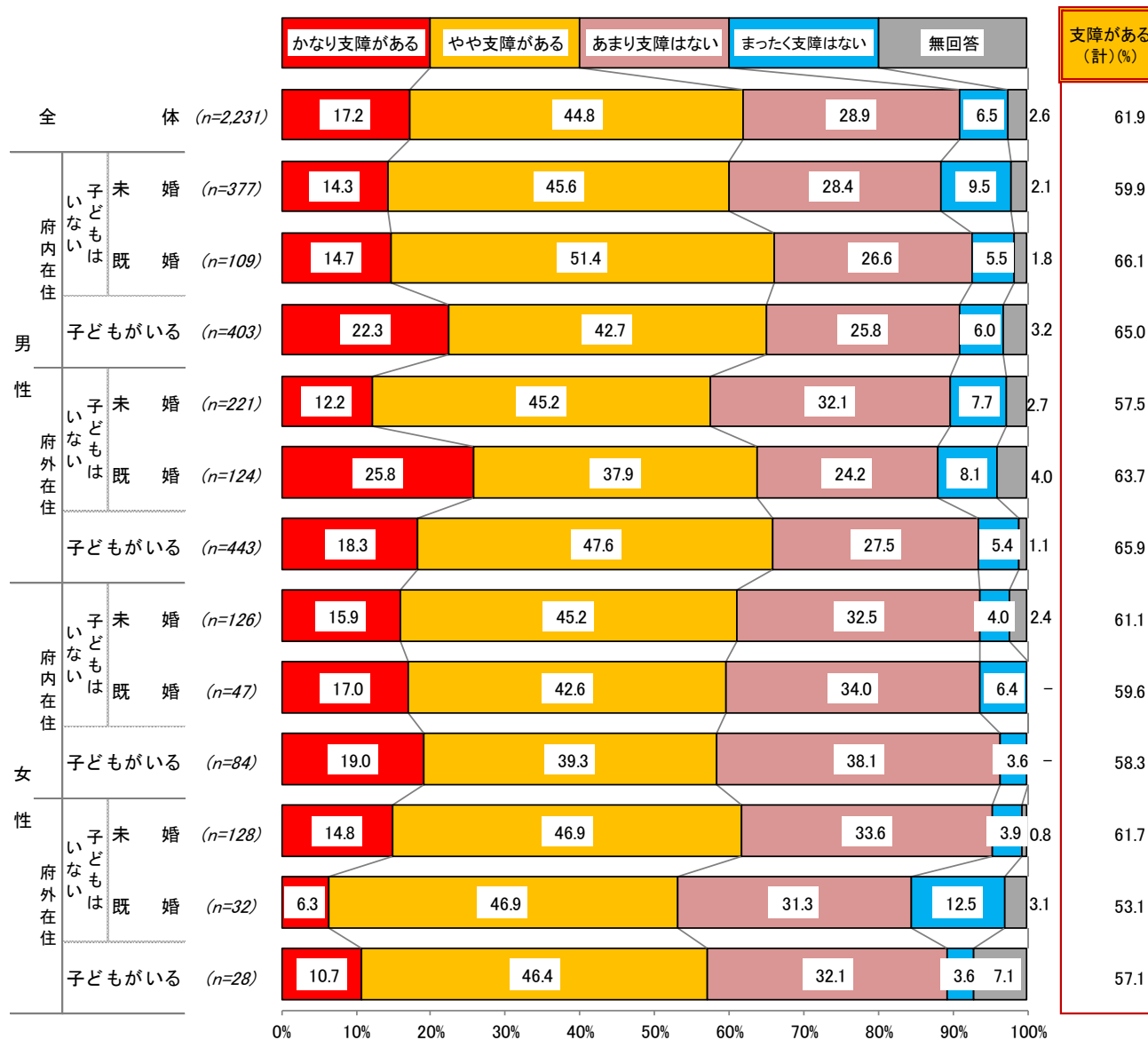
<育児のための短時間勤務制度>



“育児休業制度”の利用について性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 2-13-4）、男性で「かなり支障がある」という者は、府外在住の子どもがいない既婚者（25.8%）と府内在住の子どもがいる者（22.3%）で 2 割を上回って多くなっているが、「やや支障がある」という者を合わせると、居住地にかかわらず子どものいない既婚者と子どものいる者で 6 割を上回っている。

図表 2-13-4 育児支援制度利用による業務への支障（性・居住地・子どもの有無別）

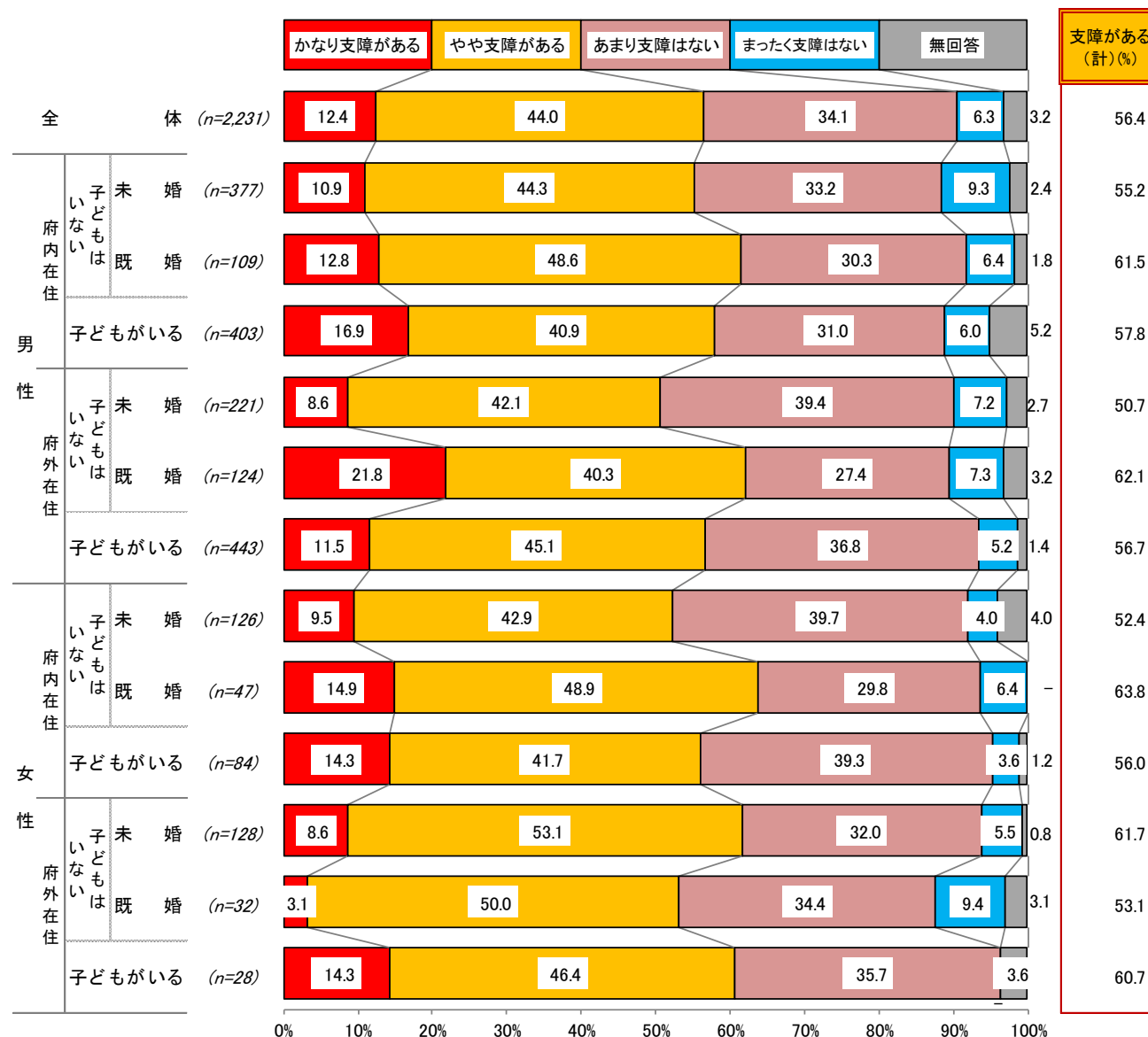
<育児休業制度>



“育児のための短時間勤務制度”の利用については（図表 2-13-5）、府外在住の男性では、「かなり支障がある」が未婚者（8.6%）よりも、子どもがいない既婚者（21.8%）に多い。女性では府外在住の子どもがいない未婚者に、「やや支障がある」（53.1%）という者が過半数である。

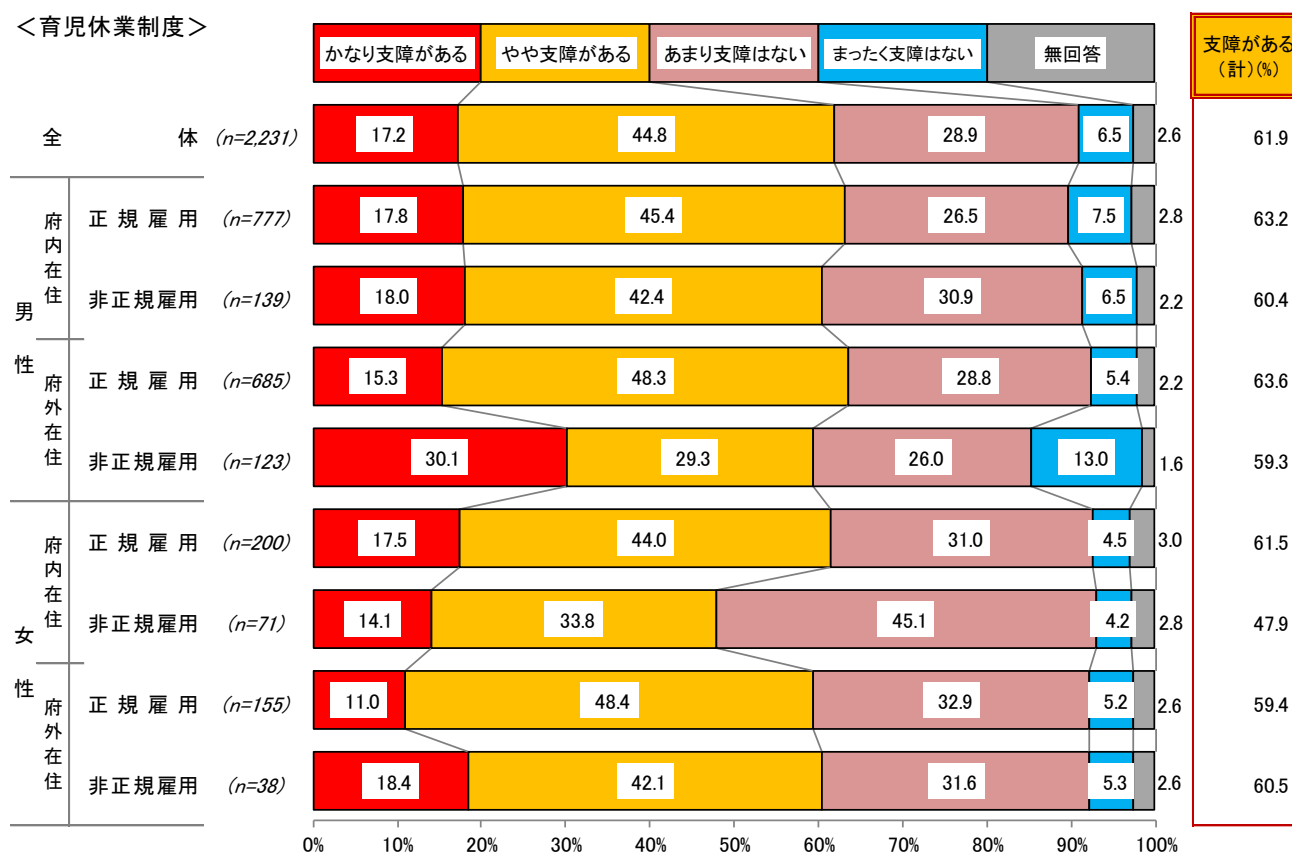
図表 2-13-5 育児支援制度利用による業務への支障（性・居住地・子どもの有無別）

<育児のための短時間勤務制度>



“育児休業制度”の利用について性・居住地・就労状況別にみると（図表 2-13-6）、男性では、府外在住の非正規雇用者で、「かなり支障がある」（30.1％）という者が目立って多い。しかしながら、「まったく支障はない」（13.0％）という者も他の層より多く、『支障がある』（59.3％）という認識は、男性の他の層よりも低い。一方、女性では、府内在住の非正規雇用者で「あまり支障はない」（45.1％）という者が 4 割を上回り、『支障がある』（47.9％）という認識を持つ者は半数に満たない。

図表 2-13-6 育児支援制度利用による業務への支障（性・居住地・就労状況別）



“育児のための短時間勤務制度”の利用についても“育児休業制度”と同様に、男性では府外在住の非正規雇用者に「かなり支障がある」(25.2%)という者が目立って多いが、「まったく支障はない」(12.2%)という認識も強く、『支障がある』(51.2%)という認識は男性の中では最も弱い(図表 2-13-7)。一方、女性でも、“育児休業制度”の利用に対する認識と同様に、府内在住の非正規雇用者のほぼ半数が「あまり支障はない」(49.3%)と回答しており、制度取得が業務に『支障がある』(40.8%)という認識は4割程度と低い。

図表 2-13-7 育児支援制度利用による業務への支障（性・居住地・就労状況別）

<育児のための短時間勤務制度>

